

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
1	埼玉大学	連続市民講座 part10 「未来を照らす－知の最前線－」	平成21年度	産業界（企業等）			読売新聞さいたま支局との共催で、埼玉大学における研究成果の一端を市民の皆さまに紹介し、豊かな地域づくりに役立てていただくことを目的として開催している公開講座。令和元年度は「未来を照らす－知の最前線－」をテーマに全6回開講した。
2	埼玉大学	埼玉大学産学官連携協議会	平成12年度	産業界（企業等）			県内企業等と埼玉大学の研究とを有機的に結びつけ、地域産業の一層の発展を図ることを目的に設立され、県内企業等の経営者、技術者および埼玉大学の研究者との交流の場を提供する産学交流事業、埼玉大学における各種情報発信、共同研究等への発展が期待される研究課題についての研究会活動などを実施している。
3	埼玉大学	埼玉大学高大連携講座	平成12年度	幼保・小・中・高等学校等			高等学校生徒に大学教育を開放し、もって大学教育及び本学に対する理解並びに高等学校教育の一層の向上を計ることを目的として、本学と協定を締結している高等学校の生徒に対し、本学で開講している授業を受講してもらい、希望者には本学の規則に基づいて単位を認定している。 ※協定締結校：県立浦和高等学校、県立浦和北高等学校、県立川口北高等学校、県立大宮高等学校、県立浦和西高等学校、県立浦和第一女子高等学校、さいたま市立浦和高等学校、さいたま市立浦和南高等学校、さいたま市立大宮北高等学校、さいたま市立大宮西高等学校
4	埼玉大学	課題解決型長期インターンシップ	平成28年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		学生の課題解決力及び就業意識を高め、県内企業への理解を深めるとともに、県内企業が抱える業務運営上の課題解決に資することを目的とし、平成28年度から「課題解決型長期インターンシップ」を開講している。各企業での実習後、参加学生、受入企業、大学関係者が参集し「成果報告会」を開催する。
5	埼玉大学	課題解決型長期インターンシップ	平成28年度	産業界（企業等）			地域の魅力づくり・活性化と、次世代の地域づくりを担う人材育成を目的とした包括連携協定を締結しているJR東日本大宮支社と連携し、平成28年度から「課題解決型長期インターンシップ」（全15回）を開講している。関連講義、フィールドワーク、グループワークを経て、学生たちが検討したまちづくりの具体案を最終講義で発表する。
6	埼玉大学	課題解決型プログラム	平成29年度	産業界（企業等）			アトレ浦和店と連携し、平成29年度から「課題解決型インターンシップ」（全8回）として開講し、平成30年度から「課題解決型プログラム」と名称を変更した。フィールドワークや取材を通して、浦和を中心とした地域の魅力づくりや活性化のための提案をまとめ、最終講義で発表する。また、その内容はアトレ浦和情報誌「U LaLa」に掲載される。
7	埼玉大学	課題解決型プログラム	平成29年度	産業界（企業等）			学生の課題解決力及び就業意識を高め、県内企業への理解を深めるとともに、自ら「主体的」に学び行動する力を身につけることを目的とし、平成29年度から「課題解決型プログラム」（全16回）として開講している。各企業が提示する課題に対してグループごとに解決策を考案し、発表する。
8	埼玉大学	地域志向科目（地域創生を考えるa, 地域創生を考えるb, 地域金融×地域創生入門）の実施	平成28年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		県内企業や県内自治体から招いたゲストスピーカーの講演を通して、「社会へ出るために、今、何をすればよいのか？」という自らのキャリア形成について考えてもらうとともに、埼玉県に対する理解を深めてもらうことを目的とした授業科目を開講している。
9	埼玉大学	高校生のためのグローバルセミナー	平成22年度	自治体（行政）			県内在学・在住の高校生を対象として、グローバル人材へのきっかけ作りとなるべく、高校生が国際感覚を身につけたいという気持ちを後押しするための講座を開催している。
10	埼玉大学	埼玉大学教養学部ミュージアム・カレッジ	平成13年度	自治体（行政）			埼玉大学教養学部が埼玉県立歴史と民俗の博物館・埼玉県立近代美術館とそれぞれ隔年で共催する公開講座。令和元年度は埼玉県立近代美術館との共催で「20世紀アメリカの視覚表現」をテーマに全4回開講した。
11	埼玉大学	埼玉大学経済学部市民講座	平成8年度	自治体（行政）			埼玉大学経済学部とさいたま市教育委員会の主催で実施している公開講座。開かれた大学を実現するため、県民・市民との交流を図り、地域社会の文化の向上に資することを目的としており、令和元年度は「伝えたい社会科学」をテーマに全8回開講した。
12	埼玉大学	埼玉大学・戸田市連携講座	平成23年度	自治体（行政）			戸田市民大学認定講座として実施している公開講座。令和元年度は全4回開講した。
13	埼玉大学	3D-CAD & 3Dプリンター無料研修	平成26年度	自治体（行政）			さいたま市と連携して、市内のものづくり企業が新事業展開など新たな試作開発における人材の育成支援を目的とする。さいたま市の「さいたま市高度ものづくり人材育成支援業務」の一環として実施している。
14	埼玉大学	リカレント教育 経済学部夜間開放授業	平成17年度	自治体（行政）			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座（リカレント教育）」として、県内在住の55歳以上の方々を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくことを目指して、経済学部夜間開放授業を実施している。
15	埼玉県立大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	自治体（行政）			地域の大学や市町村、企業・NPO、県が連携して、子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。 小学4年生～6年生 定員50名 10月19日（土） 10：40～12：10 「“車いすにやさしい街”について考える」 作業療法学科 松尾彰久准教授 11月9日（土） 13：00～14：30 「知的障がいって、どんなこと？見て 聞いて 体験して 正しく知ろう!!そして友達になろうよ!!」 健康開発学科 吉永亜子准教授
16	埼玉県立大学	りそなキッズマネーアカデミー	平成23年度	産業界（企業等）			埼玉りそな銀行との共催で、小学生を対象に、お金の流れや社会における銀行の役割などに関する講義や、保健・医療・福祉分野に関する講義・実技を内容とするセミナーを開催する。 小学3年生～4年生 定員20名 8月1日（木） 10：00～12：30（埼玉県立大学） 「おじいちゃん、おばあちゃんになったらどうなる？」看護学科 畔上光代助教

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
17	埼玉県立大学	越谷市シルバーカレッジ	平成17年度	自治体（行政）			生涯学習の一環として高齢者に学習の機会を提供する。越谷市在住の60歳以上の方 定員150名 ・9月4日（水）「生活習慣病における予防・治療について」理学療法学科 井上和久准教授 ・9月11日（水）「介護予防について学ぼう！！－介護予防ってなんだろう？－」看護学科 善生まり子准教授 ・9月18日（水）「クリティカルケアにおける看護」看護学科 鈴木玲子教授 ・9月25日（水）「在宅ケアの動向と看護の役割」看護学科 林裕栄教授
18	埼玉県立大学	見えないチカラを伸ばし夢をつかむリアル体験事業	平成23年度	自治体（行政）			埼玉県と連携し、青少年の夢発見と夢実現を支援するため、プロから学び体験する教室を開催する。 【埼玉県立大学コース】小学4年生～6年生 定員40名 ・11月16日（土）10:00～12:00 「看護師になりたい」 看護学科 星野純子准教授
19	埼玉県立大学	埼玉県立大学&浦和レッズ “ハートフルコラボレーション”	平成25年度	産業界（企業等）			浦和レッズと連携し、サッカーを通じたスポーツの振興と地域住民の健康づくりのため、イベントを開催する。 「親子サッカー教室」小学校1年生～3年生とその保護者48組 11月10日（日）10:00～12:00 健康開発学科 佐藤雄二教授
20	跡見学園女子大学	跡見学園女子大学公開講座	昭和55年度	自治体（行政）			本学新座キャンパスでは、新座市教育委員会共催又は新座市教育委員会後援、及び埼玉県教育委員会後援、並びに「埼玉まなびいプロジェクト協賛事業」の一環として「教養コース」「パソコンコース」「語学コース（英語、中国語、朝鮮・韓国語）」を開講している。
21	跡見学園女子大学	新座市民総合大学	平成12年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		新座市内にある3大学（十文字学園女子大学、立教大学、跡見学園女子大学）がそれぞれ講座を開講している。新座市内在住、もしくは在勤・在学の18歳以上の方が受講対象。
22	跡見学園女子大学	出張講義	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等			学問への関心を喚起し、また進路選択の一助となることを目的として、本学教員が高校に出向き授業を行う出張講義を実施している。教員の幅広い専門分野を網羅する形で講義メニューを用意し、高校に案内している。
23	跡見学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム公開講座	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			彩の国大学コンソーシアムは、埼玉県内にある16の大学が、連携して協力体制を築き、教育研究の高度化・進展化を図るとともに、生涯学習や産官学の地域交流を推進し、地域の教育・文化の発展を図ることを目的として設置されたもの。生涯学習、地域社会への貢献を目的として、加盟大学のうち11大学により年に一度、各大学が協力をして公開講座を行っている。
24	跡見学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			埼玉県内にキャンパスのある大学が相互に協定を結び、「彩の国大学コンソーシアム単位互換制度」を発足させた。現在、加盟大学は10校で、それぞれ科目を定めて相互に学生を受け入れている。36単位を超えない範囲で、本学の卒業要件の単位として認定される。
25	跡見学園女子大学	インターンシップ	平成15年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	講義科目で学ぶマネジメントに関する理論を、企業・団体や地方自治体等における就業体験を通してさらに発展させ、学生の学習の方向性を明確にするとともに、マネジメントの「マインドとスキル」習得により、実務能力を高めるきっかけとすることを目標としている。 埼玉県の企業と連携し、企業が抱える課題について学生がグループで検討し、その解決策を提案することを通じ、学生の考える力、課題発見・解決力、チームワーク力、プレゼンテーション力を高めることを目標としている。
26	浦和大学・浦和大学短期大学部	社会福祉法人浦和福祉会との連携	平成11年度	その他			社会福祉法人浦和福祉会 特別養護老人ホーム「スマイルハウス」と連携し、教育・研究面で様々な交流を生み、大学・施設双方に有意義な連携活動がなされている。
27	浦和大学・浦和大学短期大学部	「大崎むつみの里」就労支援	平成14年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			知的障害者施設「大崎むつみの里」の就労移行支援及び就労継続支援に協力し、週2回の学内清掃作業を同施設に依頼している。本学が福祉の大学として就労支援に協力することは、本学学生、知的障害者双方に大変有意義なプロジェクトとなっている。
28	浦和大学・浦和大学短期大学部	「緑区区民祭り」への参加・協力	平成15年度	自治体（行政）			毎年、秋（10月）にさいたま市緑区主催「緑区区民まつり」が開催され、第1回から開催・運営の協力を行っている。今年度は、38名の学生が参加をし、地域のこどもたちに「遊び」を教授したり、高齢者の方々とステージにおいて介護予防体操を行い、参加される区民の皆さんの健康づくりや仲間・家族の交流促進に貢献している。
29	浦和大学・浦和大学短期大学部	リレーフォーライフへの参加	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			公益財団法人日本対がん協会が推進するがん征圧を社会に訴える活動であるリレーフォーライフさいたまに本学福祉教育センターが窓口となり、学生を募り、3日間にわたり、がんに対する知識の普及と啓蒙活動に協力した。
30	浦和大学・浦和大学短期大学部	「イノセンスアート」授業における障がい児との交流	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			地域で児童ディサービスを実施しているNPO法人わんぱくクラブの障がい児約10名が各週で授業に参加しクリエイティブ活動を実施している。学生も支援の在り方を学び芸術性を高めている。
31	浦和大学・浦和大学短期大学部	親支援講座の開設	平成20年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			浦和大学と学術交流の協定を結ぶカナダを代表するライアソン大学における家族支援プログラム「Nobody's Perfect（ノーバディーズ・パーフェクト）」講座を開講している。本学・こども学部にはカナダのファシリテーターの資格を有する教員がいることから、親子のひろば「ぼっけ」に参加している親の中から希望者を募り、受講できるようにしている。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
32	浦和大学・浦和大学短期大学部	子育て・家族支援ファシリテータ養成講座	平成20年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		平成20年度より子育て支援に携わるスタッフを対象とした講座をさいたま市子ども未来局後援の下、本学と学術交流・提携に関して協定を締結しているカナダで唯一家族支援を学ぶライオン大学の理論と実践を生かした教材を使い、国際的な視野での学習を促進する講座を実施してきた。平成27年度より、広くさいたま市民の方々に子育てや家族を支援することに関心を持っていただける講座を開講している。
33	浦和大学・浦和大学短期大学部	大学によるリカレント教育（開放授業講座）	平成20年度	自治体（行政）			県内在住の高齢者や団塊の世代の方々に対し、授業科目の一部を受講できるよう開放している。
34	浦和大学・浦和大学短期大学部	さいたま市民大学への協力	平成23年度	自治体（行政）			さいたま市が生涯教育の一環として毎年運営している「さいたま市民大学」にはほぼ毎年本学から優秀な講師陣を派遣し、市民大学の運営を支えている。
35	浦和大学・浦和大学短期大学部	さいたま市との協力関係	平成23年度	自治体（行政）			さいたま市内でこども学部を有する唯一の私立大学であることから、本学教員はさいたま市の保育園の巡回相談への協力、さいたま市の各種委員会における委員長・委員への就任、各種行事への学部への協力を行っている。イベント開催時等には学生が地域活動を通じて学ぶ機会となっている。
36	浦和大学・浦和大学短期大学部	「北浦和ふれあいまつり」への参加・協力	平成24年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		北浦和ふれあいまつり実行委員会からの要請により、11月6日（日）に開催された「北浦和ふれあいまつり」に学生を10名ほど参加をし、バルーンアートや昔遊び等の遊びの支援を行った。また、さいたま市のPRキャラクター「つなが竜ヌゥ」やさいたま市の観光大使「浦和うなこちゃん」の着ぐるみに本学学生が入り、さいたま市のPRに貢献した。
37	浦和大学・浦和大学短期大学部	浦和大学公開講座	平成26年度	自治体（行政）			平成29年度は「音楽のレシピ」「子育て・家族支援ファシリテータ養成講座」を実施
38	浦和大学・浦和大学短期大学部	さいたま国際マラソンにおける運営および応援協力	平成27年度	自治体（行政）			さいたま国際マラソン組織委員会からの依頼を受け、46名の学生が市民ランナーへの給水ボランティア、沿道応援としてエイサーの披露と吹奏楽演奏の協力をした。併せて関係車両の駐車や待機場として駐車場の提供、ランナーや一般市民応援者へのトイレ貸出も行い、大会運営へ貢献をした。
39	浦和大学・浦和大学短期大学部	見沼ソーシャルファーム懇談会	平成28年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			「見沼ソーシャルファーム懇談会」は、見沼地域資源と労働市場を結び付けた新たな見沼のブランド化を目指し、地域活性化に向けた具体策を見出すために平成28年に近隣住民を中心に発足した任意団体で、浦和大学九里総合福祉文化研究所が運営支援を行っている。平成30年度は、大学の公開講座の一環として以下の一般公開を行った。 ・平成30年7月18日（水）第1回見沼ソーシャルワーク会議 基調講演「地域を育てるコミュニティシンクタンク」 「見沼地域のブランド化に向けた問題提起」、「ディスカッション」 ・平成30年11月28日（水）見沼ソーシャルワーク懇談会 講演「美園地区の歴史と文化」、「情報交換」
40	浦和大学・浦和大学短期大学部	介護の学校 in 埼玉	平成28年度	その他	その他		地域の介護人材の育成するため、埼玉県介護福祉士会と埼玉県介護福祉士養成校連絡協議会が共催し、地域の人々、施設で介護職として既に働いている人々、高校・大学の生徒・学生を対象とする研修事業を行った。本学が開催校で、介護福祉科学科長が実行委員長となり、教員・学生が運営を担った。
41	浦和大学・浦和大学短期大学部	公開講座「地域の介護力を高める福祉機器」	平成28年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		高齢化が世界的に進む中で、福祉機器が内外の企業によって開発されている。これらの機器を活用することで地域の介護力を高めることができる。最新鋭の福祉機器を開発している企業に参加していただき、担当者から福祉機器を説明していただき、公開講座をさいたま市と、さいたま商工会議所の後援を頂いて実施した。
42	浦和大学・浦和大学短期大学部	健康体操教室	平成28年度	その他			本学の教員・学生が指導員及びアシスタントとなり、本学の体育市背うを使って、地域の高齢者約30名に健康維持と介護予防に役立つ運動を教えている。全12回。参加費無料。
43	浦和大学・浦和大学短期大学部	こども学部インターンシップ	平成29年度	産業界（企業等）			企業等における就労体験（インターンシップ）を通して、就職への意識を高めるとともに職場の現状や職業観を養う。本学学生は保育所や幼稚園、福祉施設への就労希望が多く、社会人としての基本姿勢やマナー、職場規律、上司や同僚等へのコミュニケーションを体得するのにインターンシップは有効であると考えられる。なお、実習先については、地元産業界（企業等）を中心に依頼した。
44	浦和大学・浦和大学短期大学部	一日こども大学生	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	幼保・小・中・高等学校等	幼保・小・中・高等学校等	地域の小学校1・2年生を対象とした夏休みの自由研究題材となる公開講座を実施。「自然編」「かず・形編」「音楽編」の3講座を開講。
45	浦和大学・浦和大学短期大学部	教育インターンシップ	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	正規授業として、さいたま市・所沢市・深谷市教育委員会とインターンシップ覚書を締結し、学校教育学科1年生全員が、地域の学校の放課後活動支援に出向いている。
46	浦和大学・浦和大学短期大学部	イオンモール川口 2017 夏 休み自由研究お助け隊	平成29年度	産業界（企業等）	幼保・小・中・高等学校等		地域企業（川口イオン）川口市 川口イオンにおいて、地域の奨学生を対象にした夏休み自由研究の講座として「ちりめんじゃこの研究」講座を開講。
47	浦和大学・浦和大学短期大学部	子育て・家族支援ファシリテータ養成講座	平成29年度	自治体（行政）			さいたま市の子育て・家族支援の取り組みや、カナダ・ライオン大学との提携に基づく浦和大学の家族支援の取り組みの紹介をしながら、子育て・家族支援のファシリテータの養成を行う講座を開講。
48	浦和大学・浦和大学短期大学部	音楽のレシピ	平成29年度	その他			さいたま市内在住・勤務者を対象に、大学において、専門家による発生方法・声の響き、声の響きと音楽の関係を実演と解説。100名参加。
49	浦和大学・浦和大学短期大学部	放課後児童クラブを訪問	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			学生が「あいう園美園放課後児童クラブ・あいう園ひふみ放課後児童クラブ」を数回訪問した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
50	浦和大学・浦和大学短期大学部	第1回カワコレ「GOLD FASHION」	平成29年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			特定非営利活動法人「健康姿勢管理」の主催で、高齢者モデルさんによるファッションショーの実現を川口市内ショッピングモール・ララガーデン川口に於いて2部構成で開催しました。共催として、着物リメイク教室「蘭の夢」と、本学こども学部こども学科4年船木ゼミの学生メンバーが参加した。
51	浦和大学・浦和大学短期大学部	「紙芝居 はじめの一歩」	平成29年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			子どもに紙芝居を見せたい。そのためには「どうやって演じれば良いの?」「どんな紙芝居を選べばよいの?」という疑問に答えながら、乳幼児から小学生までを対象にした年齢別の紙芝居実演を体感し、その基本を楽しく学ぶワークショップを開催。
52	浦和大学・浦和大学短期大学部	公開講座「介護ロボット・福祉機器展-人にやさしい福祉機器の可能性-」	平成29年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		地域の介護力が低下し、施設では人手不足が年々深刻化しています。このような状況のなか、人にやさしい福祉機器が普及する可能性を社会に発信することは、福祉の人材を育成する本学の使命の一つです。さいたま市と、さいたま商工会議所の後援を頂いて、介護福祉と社会の技術や将来に関心を持っていらっしゃる地域の方々にご参加いただき、実施されました。
53	浦和大学・浦和大学短期大学部	介護の学校 in 埼玉	平成29年度	その他	その他		地域の介護人材の育成するため、埼玉県介護福祉士会と埼玉県介護福祉士養成校連絡協議会が共催し、地域の人々、施設で介護職として既に働いている人々、高校・大学の生徒・学生を対象とする研修事業を行った。本年度は会場を埼玉福祉保育専門学校とし、介護福祉科学科長を始め複数の教員が実行委員となり、当日は教員・学生が多く参加した。
54	浦和大学・浦和大学短期大学部	第3回浦和美園まつり&花火大会	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		第3回目を迎えるイベントにおいて、本学も縁日会場のなかで初めて出店をさせていただき、当日運営を行った。 本学の出店内容は、ポッチャ（パラリンピック公式種目）体験やフリスビーを使用したレクリエーション等の体験ブースとした。当日は雨天であったが、一日を通して多くの方に体験していただき、家族連れの方々に好評であった。午前11時から15時過ぎまでの間におよそ800名の方に来場いただいた。 来場者のなかには、本学ぼっけの利用者や卒業生もあり、地域の関わりとしては非常に有意義なイベントであった。
55	浦和大学・浦和大学短期大学部	本学の3ポリシーとそれに基づく教育に対する助言	令和元年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	その他		学校教育法施行細則で定められている3つのポリシーについて、さいたま商工会議所に依頼し、点検、確認、意見を頂いている。3つのポリシーとは、次の内容である。「卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）」、「入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）」。
56	浦和大学・浦和大学短期大学部	第4回浦和美園まつり&花火大会	平成30年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		第4回目を迎えるイベントにおいて、本学も縁日会場のなかで出店をさせていただき、当日運営を行った。 本学の出店内容は、[環境にやさしいペットボトルリサイクル]として、ペットボトルでの雑貨作りを企画し、午前11時から15時過ぎまでの間におよそ150名の方に来場いただいた。来場者のなかには、本学ぼっけの利用者や卒業生もあり、地域の関わりとしては非常に有意義なイベントであった。
57	浦和大学・浦和大学短期大学部	放課後児童クラブを訪問（学友会サークル マジック同好会）	平成30年度	幼保・小・中・高等学校等			学生が「あいう園美園放課後児童クラブ・あいう園ひふみ放課後児童クラブ」を数回訪問した。
58	浦和大学・浦和大学短期大学部	川口市立飯仲小学校「いいなかフェス」	平成30年度	幼保・小・中・高等学校等			川口市立飯仲小学校学校運営協議会「いいなかフェス」実行委員会が主催する同フェスに参加するため訪問した。
59	浦和大学・浦和大学短期大学部	子どもがつくるまち「第2回ミニ緑区」	平成30年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		さいたま市緑区役所及び区内の小学校と連携を図り、本学において「第2回ミニ緑区」を開催した。当日開催までに、応募した子どもスタッフが計6回のまち会議を行い、どのような「まち」を作るか、議論を重ねていく。その活動を通して、同年齢、異年齢、大学生を中心とする大人スタッフと活発な交流を持ち、皆でまち（ミニ緑区）を築き上げていく。
60	浦和大学・浦和大学短期大学部	介護ロボットのニーズ・シーズ連携協議会設置事業	平成30年度	産業界（企業等）	その他		さいたま商工会議所の介護ロボットの開発事業を推進する同協議会に短期大学部介護福祉科学科長松崎と総合福祉学部の田中准教授が委員として参加するとともに、開発を具体的に進めるワーキンググループ会議にも参加した。同事業報告書のとりまとめにも松崎が関わった。
61	浦和大学・浦和大学短期大学部	公開講座「尊厳のあるケアの可能性」	平成30年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		AI技術と広義のIoT技術の進歩による柔軟な情報処理システムの可能性拡大のなかで、高齢者の尊厳を実現する可能性が高まり、変貌している。三つの施設の取り組み発表から、学んだ。介護福祉科学科長が、基調報告し、コーディネートした。
62	浦和大学・浦和大学短期大学部	本学の3ポリシーとそれに基づく教育に対する助言	令和元年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	その他		学校教育法施行細則で定められている3つのポリシーについて、さいたま商工会議所に依頼し、点検、確認、意見を頂いている。3つのポリシーとは、次の内容である。「卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）」、「入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）」。
63	浦和大学・浦和大学短期大学部	埼玉県オリパラ月間イベント in 戸田	令和元年度	自治体（行政）			東京2020オリンピック・パラリンピックの埼玉県内開催をPRするため、県内各地のイベントにおけるブース出展の企画に参画。本学は2019年8月25日（日）イオンモール北戸田のイベントに参加し、総合福祉学科でのレクリエーションの学びを活かした『スポーツ吹き矢』の体験ブースを展開した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
64	共栄大学	子ども大学かすかべ	平成30年度	自治体（行政）			子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、ものごとの原理やしくみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。 本年度の実施内容は以下のとおり。  1日目未来につながる防災教育～大地震！その時あなたは？～ 2日目未来をつくるAI体験～人工知能を作ってみよう～ 3日目未来を担うのはキミたちだ！～将来の夢、発見！～ 4日目未来を支える農業 ～こだわりトマトのひみつ～
65	共栄大学	共栄大学公開講座	平成30年度	自治体（行政）			開かれた大学を実現するために、春日部市教育委員会と連携し、地域社会の文化の向上を資することを目的として、全3回開講する公開講座。 本年度の実施内容は以下のとおり。  1回目「いじめ問題の始まりと歴史～今、子どもたちに何を語りかけるべきなのか～」 ※台風19号に伴い中止 2回目「遣唐使の時代と岩倉使節団の時代～先人たちから学ぶもの～」 3回目「スポーツ選手に観る実力発揮の方法～スポーツ心理学からのアプローチ～」
66	埼玉医科大学	埼玉医科大学市民公開講座	平成17年度	自治体（行政）			身近な病気の問題を取り上げ、広く一般の方々を対象とした公開講座。埼玉まなびいプロジェクト協賛事業 【詳細】▲平成31年4月「膝と腰の痛み」▲令和1年5月「アレルギー」▲令和2年6月「パーキンソンと神経変性疾患」▲令和1年7月「鍼と漢方」▲令和1年9月「どう若さを保つか、寝たきりにならないために」▲令和1年10月「高血圧と脳卒中」▲令和1年11月「消化器の病気」▲令和1年12月「糖尿病と糖尿病性腎臓病」▲令和2年1月「QOL（生活の質）を高めるがん」▲令和2年3月「腸内細菌と機能性食品のはなし」
67	埼玉医科大学	地域医療連携懇話会	平成22年度	その他			地域の病院との情報交換の場で、隔月第3水曜日に定期的に開催している。
68	埼玉医科大学	ニーズマッチング in 埼玉医科大学	平成27年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		平成27年度から開始したニーズマッチング会の5回目を総合医療センターで7月に実施した。医療現場のニーズ17テーマを参加した40社に提案した。また6回目を総合医療センターで12月に実施した。医療現場のニーズ13テーマを参加した43社に提案し、マッチングを開始している。
69	埼玉医科大学	毛呂山町との地域連携協定	平成24年度	自治体（行政）			・本学及び本学短期大学の3ポリシーを踏まえた各種取組に対する外部評価実施 ・毛呂山町行政改革推進委員会委員として本学職員の派遣 ・毛呂山町振興計画審議会委員として本学職員の派遣 ・毛呂山町まち・ひと・しごと創生有識者会議委員として本学職員の派遣 ・メタボリックシンドローム改善効果判定事業への取組 ・本学教職員による町内小学校の児童への手洗い指導実施 等
70	埼玉医科大学	小中学校教育体験実習	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等			医学部1年生が毛呂山町立小中学校に半日2回訪問し、授業見学、交流経験を行い、短時間の保健指導を行っている。
71	埼玉医科大学	オープンイノベーションセミナー & 個別商談会	平成29年度	産業界（企業等）			埼玉りそな銀行が主催するセミナーで、大学病院は7月に総合医療センターは2月に臨床現場のニーズを紹介した。
72	埼玉医科大学	さいしんビジネスフェア2019	平成27年度	産業界（企業等）			埼玉県信用金庫が主催した展示会に出展し、大学の紹介や開発中の医療機器の来場した企業や一般の方に紹介した。
73	埼玉医科大学	日高市との地域連携に関する基本協定	平成25年度	自治体（行政）			・本学の3ポリシーを踏まえた各種取組に対する外部評価実施 ・がん検診啓発講演会へのがん専門認定看護師の派遣 ・介護予防効果測定・普及啓発事業委託業務への取組 ・日高市内イベント（日高市健康まつり等）への協力 ・メタボリックシンドローム改善効果判定事業への取組 ・日高市行政経営審議会委員として本学職員の派遣 等
74	埼玉医科大学	株式会社丸広百貨店との地域連携に関する協定	平成25年度	産業界（企業等）			・丸広百貨店エンジョイ大学セミナー（年4回開催）講師として本学教員の派遣
75	埼玉医科大学	株式会社西武ライオンズとの連携協力に関する基本協定	平成28年度	産業界（企業等）			・埼玉西武ライオンズ野球観戦招待引換券の本学学生への配布
76	埼玉医科大学	飯能市との連携・協力に関する基本協定	平成30年度	自治体（行政）			・本学臨地実習生の受入れ ・メタボリックシンドローム改善効果判定事業への取組 ・徘徊高齢者ひとり歩きやさしい声かけ訓練への取組 ・地域包括ケアシステム構築のための社会資本の活用に関する共同研究 ・前期高齢者を対象とした健康状況、生活状況等に関する調査の実施 ・奥むさし駅伝救護スタッフとして本学看護師の派遣 ・市内公立小・中学校への学校医（耳鼻咽喉科）の派遣 等
77	埼玉医科大学	川越市一般介護予防事業評価事業の業務委託	平成28年度	自治体（行政）			・川越市が行っている介護予防事業の効果の検証
78	埼玉医科大学	株式会社埼玉りそな銀行との連携・協力に関する基本協定	令和元年度	産業界（企業等）			・本学リサーチパークの活用促進に関するビジネスマッチングの検討 等
79	埼玉工業大学	心理学セミナー（土曜セミナー）		自治体（行政）			臨床心理学に関する心理学セミナーを開講 【令和元年度】6/15・7/20・9/21・10/19・11/16

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
80	埼玉工業大学	心理相談室		自治体（行政）			さまざまな心理的な問題や心理的、神経症的な症状に悩む人たちに対し専門家（臨床心理士）・大学院生による心理的援助を行う。 子育ての悩み、学校に関する悩み、人間関係などの悩みに関する相談。（予約制）
81	埼玉工業大学	ふかや市民大学	平成22年度	自治体（行政）			「ふかや市民大学」は、市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、学習を通して人と人とのつながり、そこでの学習成果をまちづくりに生かすことを目的として実施する。 【令和元年度】9/28
82	埼玉工業大学	埼玉工業大学公開講座	平成12年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学・短大（大学・短大間連携）	内容①英語コミュニケーション講座、②キッズ向け体験学習講座（ビスケット）③バイオテクノロジー講座 ⑤親子学ぶ生命環境科学講座 ⑥キッズ向け体験学習講座（スクラッチ） ⑦キッズ向け体験学習講座（プログラミング） ⑧ものづくり基礎講座 ⑨法学講座 【令和元年度】9日間（6/1・7・8・14・15・21・22・28・29）8講座、参加者数のべ306名
83	埼玉工業大学	埼玉県産業教育フェア		幼保・小・中・高等学校等			専門高校（農業・工業・商業・家庭・看護・福祉）の生徒を対象に大学の研究成果を展示する。 【令和元年度】11/9～11/10
84	埼玉工業大学	SAIKOフェア	平成19年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	おかベコスモス祭り、大学学園祭と連携し小学校、中学校、高校及び一般市民を対象に大学の研究成果や学生プロジェクトの活動状況を展示発表する。 【令和元年度】10月13日 ※台風19号の影響により開催中止
85	埼玉工業大学	出前授業・模擬授業	平成18年度	幼保・小・中・高等学校等			教育・研究の成果を地域社会に還元すべく、高等学校・地域社会・地元産業界と連携強化を努めている。本学で所有する知的資源を有効に活用するという趣旨で、本学専任教員が直接高等学校に出向き講義を行う。
86	埼玉工業大学	子ども大学ふかや	平成22年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学・短大（大学・短大間連携）	深谷市・深谷青年会議所等と協同で実施 内容①【入学式】・Happy time English Time ②家電製品工場見学！～最新家電ができるまで～ ③お年よりの口の働きと食事について知ろう ④目指せ介護小学生 ⑤プログラミングで自分だけの作品をつくろう！ ⑥日本の郷土料理～伝統を味わおう～・「成果発表会」・【修了式】 【令和元年度】8/3・8/23・9/28・10/5・11/9
87	埼玉工業大学	子ども大学よりい	令和元年度	自治体（行政）		大学・短大（大学・短大間連携）	寄居町教育委員会からの依頼により実施 内容①君にもできる！プログラミング超入門～ビスケット編～ ②プログラミングでゲームを作ろう～スクラッチ編～ ③マイクロビットで電子工作に挑戦 【令和元年度】8/5・8/7・8/9
88	埼玉工業大学	科学と仏教思想センター公開セミナー	平成28年度	自治体（行政）			2019年公開セミナー 「チベット浄土教の瞑想」 後援：深谷市教育委員会 【令和元年度】11/30
89	埼玉工業大学	高大連携事業 大学見学		幼保・小・中・高等学校等			大学教育・高校教育の活性化を図るため、協定を締結した連携校の大学見学や体験授業等を行う。
90	埼玉工業大学	高大連携事業 出前授業		幼保・小・中・高等学校等			本学で所有する知的資源を有効に活用するという趣旨で、本学専任教員が連携校に出向き講義を行う。
91	埼玉工業大学	インターンシップ推進事業		幼保・小・中・高等学校等			埼玉県のインターンシップ推進事業の受入企業として、県内高校生のインターンシップ受け入れを行っている。
92	埼玉工業大学	さいしんビジネスフェア（産学連携）		産業界（企業等）			2019年6月12日（水） さいしんビジネスフェア2019 埼玉工業大学の自動運転車公道実験への取り組み AIへの取り組み その他 出展。
93	埼玉工業大学	第1回産学連携技術シーズ発表会【埼玉県産業振興公社】		自治体（行政）	産業界（企業等）		2019年7月4日（木） 令和元年度 第1回 産学連携技術シーズ発表会 【画像処理技術の医学応用】情報システム学科 教授 山崎隆治
94	埼玉工業大学	第2回産学連携技術シーズ発表会【埼玉県産業振興公社】		自治体（行政）	産業界（企業等）		2019年10月18日（金） 令和元年度 第2回 産学連携技術シーズ発表会 【精密加工における技術と技能～加工モニタリング技術と技能五輪の紹介～】 機械工学科 准教授 長谷 亜蘭氏
95	埼玉工業大学	埼玉工業大学 公益財団法人埼玉県産業振興公社共催事業 シーズ発表会		自治体（行政）	産業界（企業等）		2019年12月3日（火） AI・IOT・次世代エネルギープラットフォーム& Society 5.0
96	埼玉工業大学	こだま青年会議所イベント		産業界（企業等）			2019年09月29日（日） 本庄早稲田駅周辺、自動運転バス試乗運行
97	埼玉工業大学	彩の国ビジネスアリーナ（産学連携）		産業界（企業等）			2020年1月29日（水）、30日（木） 彩の国ビジネスアリーナ2020 埼玉工業大学の自動運転車公道実験への取り組み AIへの取り組み その他 出展。
98	埼玉工業大学	埼玉北部地域技術交流会		自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	2020年2月13日（木） 第16回埼玉北部地域技術交流会 ビッグデータと外国人材活用方 本学研究室紹介
99	埼玉工業大学	公社会員 感謝の集い（埼玉県産業振興公社）		自治体（行政）			2020年2月18日（火） 埼玉県産業振興公社のイベント 本学研究室紹介

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
100	埼玉工業大学	先端科学研究所協力会 企業見学会		産業界（企業等）	自治体（行政）		ニコン熊谷製作所見学会
101	埼玉工業大学	自動運転技術開発センター		自治体（行政）			埼玉県八潮市支部交通安全母の会市街研修（自動運転車両の試乗） 【令和元年度】11月15日
102	埼玉工業大学	自動運転技術開発センター		自治体（行政）			埼玉県交通安全母の会連合会東部ブロック視察研修（自動運転車両の試乗） 【令和元年度】2月21日
103	埼玉工業大学	地域連携事業（1）		自治体（行政）	産業界（企業等）		①金大星蔵びらき 4月7日（日）米と日本酒～米作り、そして日本酒へ～プロジェクトのPR ②ふっかちやんパースデイぱーちい F U K A Y A 2019 6月29（土） ブース出展・フカキャングッズの販売 ③夏休み勉強会（サマースタディー）8月20日（火）深谷市内小学生向けバスケット・プログラミング教室 ④JR高崎線 岡部駅「おかべ駅前イルミネーション2019」設置2019年12月2日（月）～2020年1月31日（金）
104	埼玉工業大学	地域連携事業（2）		自治体（行政）	産業界（企業等）		⑤深谷七夕まつり 7月5日（金）～7日（日）ブース出展、イルミネーション展示 ⑥深谷市産業祭 11月9日（土）・10日（日）研究室のブース出展 ⑦深谷えん旅 11月14日（木）小学生向け理科教室 ⑧書初め練習会 12月22日（日）深谷市内小学生向け書初め練習会
105	埼玉工業大学	地域連携事業（3）		自治体（行政）	産業界（企業等）		深谷市が毎年開催する「深谷ものづくり博覧会」の運営に協力し、会場として本学大乗殿（体育館）を提供。当博覧会は、独自の技術や製造によって全国的な知名度を有する深谷市内の製造業を中心に、企業の認知度向上と事業内容への理解を深めていただくことを目的に開催。本学では、研究室や学生プロジェクトなど複数出展。 【令和元年度】2月16日（日）開催
106	埼玉工業大学	リカレント教育	平成20年度	自治体（行政）			生涯学習、地域や社会活動への参加のきっかけとして、県内在住の高齢者や団塊の世代の方々を対象に、本学で開講している授業科目の一部を開放する。
107	埼玉工業大学	学生プロジェクト		自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	①「OKABE」光の回廊プロジェクト」ふかや市商工会青年部と協力しておかべ希望が岡公園にイルミネーションを設置。②「米と日本酒プロジェクト」農家の方と共同で埼玉ブランド米の「彩のかがやき」を作り、そのお米を使って深谷市内の酒造会社の協力を得て日本酒造りを行った。商品名『瞬喜道』③「集まれ科学実験プロジェクト」深谷市内、周辺市町村の小学校や公民館に赴き、科学実験教室を開催した。・スライム ・マイクロカプセル ・液体窒素の実験 ・ミラクルフルーツの不思議等
108	芝浦工業大学	学生プロジェクト	令和1年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	幼保・小・中・高等学校等	SDGs学生委員会-綾いと 学生の視点からみた大学キャンパスの運営や地域住民との交流の在り方等について議論を交え、持続可能な環境にするために提案や試作を積極的に行っている。SDGs達成への寄与、及びその過程における芝浦工業大学の変革を目指す。 <活動実績> SDGsを学ぶ親子教室 開催（2019/5/11）：栗橋西小学校にて親子を対象にSDGsを学ぶための活動を実施。 東大宮クリーン大作戦 参加（2019/5/26） 大宮国際中等教育学校 NPOフェア 参加（2019/6/15） 東大宮サマーフェスティバル 参加（2019/8/2,8/3）：当日協力及び、(株)テルミ様と配布用うちわの共同制作 東大宮4丁目 夏祭り キャンドルナイト参加（2019/8/17） アースデイ川越in昭和の街 プログラム制作、運営協力（2019/10/6） コープみらいフェスタinさいたまスーパーアリーナ SDGsコーナー ブース出展（2019/10/20） 埼玉県立蕨高等学校 グローバル人材育成授業（2019/10/31） がしみやコミュニティプロジェクト 大宮キャンパス周辺の東大宮地区（がしみや）を対象地域とし、住民のニーズに応える形でサポートを行いながら地域コミュニティ強化に向けた活動を行う。 <活動実績> 見沼はるかぜキッチン（2019/6/8、7/13、8/3、9/14）：さいたま市子どもの居場所づくり（多世代交流会食）補助事業として行われている「見沼はるかぜキッチン」と本団体との協働イベント参加 東大宮クリーン大作戦および東大宮マーケットの企画・運営（2019/5/26）
109	芝浦工業大学	第15回見沼区ロボット工作教室	平成16年度	小学校	自治体（行政）		工作教室は、子供たちにもづくりの楽しさを知ってもらおうことと、地域の方々との交流を目的として、3月に3回予定している。
110	芝浦工業大学	芝浦工業大学キャンドルナイト	平成24年度	自治体（行政）			「100万人のキャンドルナイト」が元になっており、2011年度の東日本大震災を期に省エネやエコについて考える。地域交流として上尾市白樺団地等で実施している。
111	芝浦工業大学	イルミネーションプロジェクト	平成30年度	自治体（行政）			小学生と芝浦工業大学の留学生も参加しお絵描きワークショップを開催。子供たちと留学生が交流し、描いた絵がイルミネーションと一緒に小学校を彩る企画。
112	芝浦工業大学	埼玉県彩の国ビジネスアリーナ/産学連携フェア	平成24年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	研究シーズ、産学官連携活動（技術相談、共同研究事例等）、3月開催の本学主催イベントを紹介し、県内企業との技術相談・共同研究推進及びイベントへの勧誘。（R1年度）

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
113	芝浦工業大学	地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）	平成25年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	文科省からの補助金交付は平成29年度で終了したが、大学の自己資金にて活動継続。地域との連携を更に強化して、『まちづくり』と『ものづくり』を通じた教育・研究・社会貢献を実施。（R1年度）
114	芝浦工業大学	さいたま市高度ものづくり人材育成支援事業	平成26年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		ものづくり企業の製品化を支援するために、プロトタイプング手法を活用した実践的人材育成プログラムを、地域企業の若手技術者に対して実施。（R1年度）
115	芝浦工業大学	埼玉県との連携授業	平成26年度	自治体（行政）			土木工学科、環境システム学科において、埼玉県総合技術センターと連携し、県土整備部や都市整備部の職員による連携授業を実施。（R1年度）
116	芝浦工業大学	さいたま医療ものづくり都市構想	平成27年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		さいたま医療ものづくり協議会に参加し、本学の知見を提供。（R1年度）
117	芝浦工業大学	さいたま市シニア向け運動教室	平成27年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学の運動施設を生かして大学近隣のシニア向け運動教室を実施しているが、今年度は埼玉大学との連携により実行場所を広げる実験を試行。（R1年度）
118	芝浦工業大学	課題解決型授業への課題提供	平成28年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		埼玉県との連携的包括協定に基づき埼玉県から、さいたま市とのイノベーション協定に基づきさいたま市から、及び埼玉県内・さいたま市内企業様から課題解決型授業への課題提供を頂いた（大学院PBL授業、大宮グローバルPBL等）。（R1年度）
119	芝浦工業大学	埼玉県産学連携ネットワーク会議	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		毎回、ネットワーク会議に参加し、県内企業を対象に研究シーズ紹介を積極的に実施し、技術相談・共同研究に発展。（R1年度）
120	芝浦工業大学	さいたま医療ものづくりフォーラム2020	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		フォーラムに出展して、生命科学科の研究シーズを紹介。（R1年度）
121	芝浦工業大学	さいたま市主催 大学による地域の課題解決・活性化支援事業補助金	平成29年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		「多機能型」運動教室、「さいたまオアシスプロジェクト」、「市民と大学が連携した賑わい屋台村の強化」3件の採択を受け、地域活性化活動を実施。（R1年度）
122	芝浦工業大学	さいたま市 イノベーション技術創出支援補助金	平成30年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		市内企業と協力して、さいたま市から補助金を獲得を想定した技術相談を実施。（R1年度）
123	芝浦工業大学	（一社）さいしんコラボ産学官主催 中小企業のための「知財を活用した商品アイデア創出事業」アイデア発表会	平成30年度	産業界（企業等）			中小企業のための「知財を活用した商品アイデア創出事業」アイデア発表会in埼玉に、本学から2チームが参加し、チームバン！が優秀賞、チームモウモウ！が敢闘賞を受賞。（R1年度）
124	芝浦工業大学	さいたま市主催 第9回学生政策提案フォーラム in さいたま	平成30年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		「第9回学生政策提案フォーラム in さいたま」において、東京2020大会における雪を利用した熱中症対策の改善「さいたまオアシスプロジェクト」を提案し最優秀賞を受賞。（R1年度）
125	芝浦工業大学	さいたま市人材高度化タスクフォース事業	平成30年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		市内企業と協力して、さいたま市から補助金を獲得し、共同研究を通して企業若手と学生の人材育成を実施。（R1年度）
126	芝浦工業大学	「知と地の創造拠点」フォーラム（同時開催：COC学生成果報告会）	平成30年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	昨年度に引き続き、本学の重点領域において学外関係者と連携した教育・研究・社会貢献を行っている活動に焦点を当て、産学・地域連携の発展に向けた情報発信を目的に開催予定。今年度のテーマは「データサイエンスの利活用と期待」。（R1年度）
127	芝浦工業大学	埼玉スポーツ科学シンポジウム	R1年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	埼玉県主催、埼玉スポーツ科学シンポジウム@浦和パルコ9階にて、石崎先生が「大学を活用した市民の健康づくりプログラムと今後の可能性について」を発表予定。（R1年度）
128	芝浦工業大学	さいたま市シェアサイクル普及事業実証実験	R1年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		産学連携PBLの取組の一つとして、校舎内にシェアサイクルポートの設置と併せて、シェアサイクルの有効性や課題などの検討及び提案。（R1年度）
129	芝浦工業大学	公開講座（オープンテクノカレッジ）	平成3年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）		芝浦工業大学では、本学の教育・研究成果を地域社会に還元し、また学びの場を提供することを目的として、幅広い世代の方を対象とした公開講座を実施している。 ・「地震による地盤災害への備え～地震による液状化のメカニズムとその対策～」 ・「目指そう！語学ボランティア in 大宮キャンパス～」 ・「宇宙物理学入門～ブラックホールと超弦理論～」 ・「月惑星探査ロボットの移動を実験から考える！～新しい移動機構への挑戦～」



埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
130	芝浦工業大学	公開講座（オープンテクノロジー）	平成3年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）		芝浦工業大学では、本学の教育・研究成果を地域社会に還元し、また学びの場を提供することを目的として、小学生の子どもを対象とした公開講座を実施している。 ・「マッキー先生の算数教室～みんなで大きな立体ドームを作ってみよう！～」 ・「自分たちで創る明るい未来都市！～大学生とつくるダンボールシムシティ～」 ・「測量実習 21世紀の伊能忠敬になってみる！～地図づくりのプロたちから学ぶ3次元測量～」 ・「親子で作ろうロボットセミナー」
131	十文字学園女子大学	地域活動（ボランティア） Youth Volunteer部：（ユースボランティア部）	平成8年度	自治体（行政）			日本赤十字社東京支部学生奉仕団に加盟しており、そこを拠点として様々な活動を行っている。毎月1回障害者の方々と出かけたりレクリエーションをしたり、定期的にボランティア活動を行っている。
132	十文字学園女子大学	新座市内大学	平成9年度	自治体（行政）			新座市教育委員会と本学の共催により、公開講座を2講座開催。 【9/21（土） 58名、11/2（土） 168名】
133	十文字学園女子大学	インターンシップ（大学）	平成11年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		官公庁、一般企業の業務に触れることで、仕事や社会を知り、将来の展望を考える機会とする。 実施期間：夏季休暇中（前期）または春季休暇中（後期）を中心に、5日間以上の実習について単位を付与する。 参加人数：84名
134	十文字学園女子大学	新座市民総合大学「まちづくりリーダー養成学科」	平成12年度	自治体（行政）			新座市・新座市教育委員会主催。市内3大学（跡見学園女子大学、立教大学、十文字学園女子大学）が2学部3学科を開学し、市内在住もしくは在勤・在学の18歳以上を対象に講義を実施。 6月～12月、全15回 定員40名
135	十文字学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			参加大学で開講されている科目を参加大学に所属する学生に開放し、一定の条件を満たせば、「単位認定」を行う。 費用：（受け入れ大学一校あたり）登録料2,000円 受け入れ：1名、送り出し：1名
136	十文字学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム公開講座	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			生涯学習、地域社会への貢献を目的として、彩の国大学コンソーシアム参加16大学のうち、11大学が公開講座を実施。今年度のテーマは「さいたま遊学2019～知的、快適生活のススメ～」 9/14(土)15：25～16：45 「スイーツな言語学-チョコレートのことばの味わい方-」（人間生活学部 文芸文化学科准教授 星野祐子） 会場：ウェスタ川越 51名
137	十文字学園女子大学	リカレント教育	平成20年度	自治体（行政）			埼玉県内や近隣の大学と協力し、団塊世代や高齢者の方々と対象に、大学の授業を開放する。 前期：36名、後期：27名
138	十文字学園女子大学	赤い羽根共同募金	平成21年度	自治体（行政）			新座市社会福祉協議会の依頼を受けて学内及び街頭募金活動を行う。 10月1日（火）～10月31日（木）に学内募金箱の設置 10月1日（火）・4日（金）に新座駅前での本学学生による街頭募金活動 （募金活動合計）28,969円
139	十文字学園女子大学	彩の国いきがい大学入間学園「若い世代との交流」	平成22年度	自治体（行政）			高齢者の学習の場として開校。社会の変化に対応できる能力を身につけ、社会参加による生きがいを高め、卒業後は地域活動のリーダーとして活躍することを目的とする。 【平成25年】11月20日(火)10:40～16:10 受講生数86名 【平成26年】今年度は本学にて開催せず。 【平成27年】今年度は本学にて開催せず。 【平成28年】今年度は本学にて開催せず。 【平成29年】今年度は本学にて開催せず。 【平成30年】今年度は本学にて開催せず。 【令和元年】今年度は本学にて開催せず。
140	十文字学園女子大学	子ども大学にいざ	平成22年度	自治体（行政）			主催：子ども大学にいざ実行委員会(新座市教育委員会・雑木の会・十文字学園女子大学) 対象は小学校4年～6年生。大学教員や地域の方を講師に講義を行い、参加者には修了証を発行。 全3回（8/20、8/21、8/22） 定員40名
141	十文字学園女子大学	埼玉まなびいプロジェクト協賛事業 公開講座	平成22年度	自治体（行政）			学ぶ喜びとふれあいの輪を県内各地に広めるため、平成22年度より「埼玉まなびいプロジェクト」を県が実施している。 本学では公開講座のいくつかを「埼玉まなびいプロジェクト協賛事業」として開催している。 8/8（木）10：30～12：30 【子ども向け講座】食品加工×サイエンス「手打ちうどんを作ろう！～小麦粉の科学～」 45名
142	十文字学園女子大学	ふるさと支援隊	平成22年度	自治体（行政）			埼玉県内の中山間地域における、高齢化や過疎化の進行により農林業や地域活動の維持が困難な地域に対して、大学生による「ふるさと支援隊」を組織し、若い感性や専門知識を活かして中山間地域に活力をもたらす支援をする。 今年度は＜神川町渡瀬、下阿久原、上阿久原、矢納地区及び本庄市全域＞、＜皆野町金沢地区＞の2地区において活動。
143	十文字学園女子大学	彩の国ロードサポート	平成24年度	自治体（行政）			彩の国ロードサポート団体「ゾウキリンくらぶ」による活動。ボランティアで清掃美化活動を行う住民団体等を道路のサポート団体として認定し、快適で美しい道路環境づくりを推進する。 担当区域：川越街道・恵山通り
144	十文字学園女子大学	緑の募金	平成25年度	自治体（行政）			公益社団法人埼玉県緑化推進委員会の依頼を受けて募金活動を行う。 4月22日(月)～5月31日(金)、10月1日(火)～10月31日(木)の年2回、学内に募金箱を設置。 （募金活動合計）1,509円

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
145	十文字学園女子大学	新座ひまわりプロジェクト	平成25年度	自治体（行政）			東日本大震災により福島県のNPO法人「シャローム」のひまわり油精製事業が運営困難となった。これを支援する活動として、ひまわりを里親として栽培し、とれた種を送り返し、それを基にひまわり油を製造してもらうという復興支援プロジェクトに参加。ひまわり油の販売で得た収益は福島県内の子ども達の保養プログラムに利用される。 今年度は参加せず。
146	十文字学園女子大学	女性のためのエンパワーメント講座	平成24年度	自治体（行政）			平成25年度男女共同参画推進プラザ事業・女性のためのエンパワーメント講座は、女性が社会で活躍するために、仕事等に必要なエクセルの技術を身に付け、MOS検定試験に合格できるまでに実力を高めることを目的としている。
147	十文字学園女子大学	子ども大学しき	平成26年度	自治体（行政）			主催：子ども大学しき実行委員会(志木市教育委員会・NPO法人アンサーズネット・十文字学園女子大学) 対象は小学校4年～6年生。大学教員や地域の方を講師に講義を行い、参加者には修了証を発行。 全3回（8/3、8/5、8/6） 定員30名
148	十文字学園女子大学	ふるさとにいざ✦オータムコンサート	平成27年度	自治体（行政）			新座市教育委員会と本学の共催により、市民を対象としたコンサートを平成27年度から毎年開催している。新座市の施設「ふるさと新座館」ホールにあるスタインウェイ・ピアノを活用し、教員とゲストによる演奏や、学生による新座をテーマにした演目（朗読と歌）などを披露。地域の魅力を発信するとともに、公共ホールの活性化を目的としている。 10/5（土） 184名
149	十文字学園女子大学	株式会社西武ライオンズとの連携事業	平成28年度	産業界（企業等）			(株)西武ライオンズとの連携協力に関する協定に基づき、以下の連携事業を行っている。 ・埼玉西武ライオンズ野球観戦招待引換券の本学学生への配布 ・チャリティーイベントボランティアとして本学学生の派遣 ・本学のゼミや授業と連携したイベントの開催 等
150	十文字学園女子大学	ほっとカフェ（高齢者と介護者のためのカフェ）	平成28年度	自治体（行政）			地域の方たちの交流の場、また専門職による介護などの相談の場として、年2回のペースで開催。本学教職員と学生のほか、地域の専門職や民生委員、町内会の方と共同で運営しており、健康に関する講話、体操、脳トレ、骨密度測定などを実施している。 2回（9月・1月）開催
151	十文字学園女子大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在の18大学・13自治体で構成する「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）」に加盟。地域の活性化を目指し、共同で公開講座、入試広報活動、FD・SD、防災訓練、就活支援、地域との連携事業（イベント等）に取り組んでいる。
152	十文字学園女子大学	大江戸新座まつり	令和元年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		新座市の「大江戸新座まつり」の阿波踊りに、学生59名が「十文字女子大連」として参加。そのほか、給水スタッフのボランティアとして学生数名が活動した。あわせて「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）」とも連携し、各大学の学生・教職員が当日の運営をサポート。うち学生2名は「十文字女子大連」の阿波踊りにも参加した。
153	淑徳大学	インターンシップ	平成10年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）	自治体（行政）	在学中の就業体験を通じて社会や企業・団体を知るだけでなく、自分の適性や働くことの意味を理解する機会であり、自分探しや就職活動に生かしている。
154	淑徳大学	文京学院大学・淑徳大学共催公開講座	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			両大学は知的資源、人的資源ならびに施設面において協力、交流し、地元社会において公開講座を共同で開催することにより、市民にとって価値の高い修学の機会を提供することを目的としている。 (令和元年度内容) 実施時期：令和元年10月5日（土）、12日（土） テーマ：大人の造形講座
155	淑徳大学	リカレント教育（開放授業講座）	平成19年度	自治体（行政）			県内在住の高齢者や団塊の世代の方に対し、授業科目の一部を受講できるように開放している。
156	淑徳大学	所沢市大学連携共催セミナー	平成22年度	自治体（行政）			所沢市教育委員会と近隣大学の連携により、専門的かつ学術的な知識を学ぶ機会を提供し、市民の高度化、多様化する学習に応えるため開催している。 (令和元年度内容) 実施時期：令和2年2月1日（土）、8日（土） 実施回数：2回
157	淑徳大学	子ども大学ふじみ	平成24年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、向上させることを目的としている。 (令和元年度内容) 実施時期：6月～9月 実施回数：7回 対象：富士見市内在住の小学4～6年生（60名）
158	淑徳大学	子どもスポーツ大学ふじみ	平成25年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、色々なスポーツ分野で活躍している選手と一緒に学校では体験しないスポーツを経験することを目的としている。 (令和元年度内容) 実施時期：6月～9月 実施回数：7回 対象：富士見市在住の小学4～6年生（40名）
159	淑徳大学	子ども大学みよし	平成25年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、向上させることを目的としている。 (令和元年度内容) 実施時期：6月～11月 実施回数：5回 対象：三芳町在住の小学4～6年生（50名）
160	淑徳大学	夏季淑徳教師養成塾	平成25年度	自治体（行政）	小学校		子ども達とふれあう楽しさや指導する難しさに気づき、教職を真剣に目指す意識を強固にすることを目的としたボランティア活動であり、夏季休暇期間中に教育連携先自治体等の要請を受けて、児童の宿題や個別学習の支援を行う。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
161	淑徳大学	子育て支援事業	平成25年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		教員・保育士を目指す学生のボランティア活動を通じた実践の場として、学内外（保育園、幼稚園、児童館、自治体の施設等）での乳幼児を対象とした公演やふれあい活動を実施している。
162	淑徳大学	西みずほ台商店会との協働事業	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			西みずほ台商店会への学生派遣や商店会マップ作り、みずほ台祭りにアドバイザー的存在として関わり、地域活性化を図る。
163	淑徳大学	鶴瀬西口商店会との協働事業	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			教員と学生が「鶴瀬よさこい祭り」の実行委員会委員となり、祭りの運営に関わっている。
164	淑徳大学	フレンドシップ事業	平成29年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		教員の養成段階において学生が種々の体験活動等を通して子ども達と触れ合い、子ども達の気持ちや行動を理解し、教員としての実践的指導力の基礎を習得することを目的とした事業で、近隣自治体の行事へのボランティア参加要請により、地域社会との連携強化を図っている。
165	城西大学	子ども大学にしているま	平成24年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）	大学・短大（大学・短大間連携）	子どもの学ぶ力や生きる力をはぐぐみ、地域で地域の子どもの育てるしくみをつくる。
166	城西大学	埼玉県とのリカレント教育	平成19年度	自治体（行政）			県と大学が協力して、県内在住者の高齢者や団塊の世代の方々に対し、授業科目の一部を受講できるよう開放する。
167	城西大学	坂戸市との連携協力	平成20年度	自治体（行政）			連携協力のもと、互いに協働し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展、そのための人材育成に寄与する。
168	城西大学	公開講座	昭和57年度	自治体（行政）			教育研究の成果を広く地域に開放し、高度化、多様化する地域住民の学習意欲と地域社会のニーズに応えるために公開講座を開講します。
169	城西大学	インターンシップ		地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）	自治体（行政）	自治体や企業のほか学校での授業補助の「学生インターンシップ」も実施。
170	城西大学	高麗川プロジェクト	平成24年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		人間教育、国際教育、地域連携をキーワードとする活動を推進する重要なプログラムとして「高麗川プロジェクト」を策定しました。このプロジェクトは、学生のアイデアに基づく高麗川に関わる自主的な活動を、これまでの活動と合わせて、「高麗川プロジェクト」と位置づけて支援し、それらをつなげることで、学生と地域の方たち、教職員が一体となり、高麗川をふるさとと誇りに思い、この地域に世代を超えて伝わる自然環境の再生活動やエコ活動への関心を高め、地域の活性化につなげることを目指したものです。
171	城西大学	坂戸市住宅団地にぎわい再生事業	平成26年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学の授業、課外活動その他周辺地域と連携した活動を地域住民と協働して行う。様々な取り組みを通じて、地域住民及び学生等が自由に活動できる場を提供する。
172	城西大学	埼玉県川の国応援団	平成29年度	自治体（行政）			「川の国埼玉」の実現に向けた県民による川の再生活動
173	城西大学	彩の国ネットワーク	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	「テロを許さない街づくり」の確立に向け官民一体となった効果的なテロ対策の推進
174	城西大学	坂戸・夏よさこい AIカメラの活用およびイベント経済波及効果ツールを使った街づくり「目指せ！経済波及効果一億円」	平成30年度	埼玉県	坂戸市北口商店街		坂戸・夏よさこい実行委員会が掲げる「経済波及効果一億円」に関し、経済波及効果の算出に協力した。経営学部の「まちづくり」受講生および学習サークル「蛭川簿記塾」の学生のべ350名が、来場者にアンケートを行い、観光客数や観光客1人当たりの消費額など算出に必要なデータを収集する。そのデータを蛭川簿記塾の学生が算出・分析し、経済波及効果を算出し、主催者や出店者に消費支出の増加を促すためのアドバイスを行う。
175	城西大学	彩の国連携力育成プロジェクト「緩和ケアIPW研修会」	平成30年度	埼玉県	埼玉県内職能団体	埼玉県立大学、埼玉医科大学、日本工業大学	さらに今年度は、AIカメラで撮影した画像をもとに、イベント参加者を推測し、クラウド上に登録してある分析ツールと連動して、経済波及効果を算出する。算出された経済波及効果は、会場2か所に設置されたサイネージに表示され、さらに一定時間ごとに参加者に伝達し、イベント実施に伴う開催効果を高める。
176	城西大学	彩の国連携力育成プロジェクト「IPW実習」	平成25年度	埼玉県（施設等）	埼玉県立大学、埼玉医科大学、日本工業大学		坂戸・夏よさこいでは、イベント開催前に経済波及効果の目標値を1億円と定め、開催後に算出する実際の経済波及効果との差分から効果や課題を可視化し、今後の商店街の活性化に活かしていく。なお、経済波及効果の算出にあたっては、埼玉県産業連関表による経済波及効果分析ツール（県統計課が作成）を使用する。
177	城西大学	彩の国連携力育成プロジェクト「IPW演習（緩和医療学）」	平成25年度	埼玉県立大学、埼玉医科大学、日本工業大学			模擬患者を活用し、「がん終末期の患者の、身体的・精神的苦痛を和らげるにはどうしたらいいか」「患者の家族のフォローはどうすればいいか」4大学から異なる分野（医学、理学療法、生活環境デザイン、薬学、医療栄養）の学生が集まり、連携してよりよいケアプランを考える。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
178	城西大学	彩の国大学コンソーシアム協定による公開講座	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			大学相互の協力交流を通じ、既存の知的資源と人的資源の活用可能性を社会に広報し、学生や社会人等にとって価値のある学修活動の場を広く提供する。近隣の施設において、彩の国大学コンソーシアムに加盟している1大学1講座を実施している。
179	城西大学	彩の国大学コンソーシアム協定による単位互換	平成19年度	大学・短大（大学・短大間連携）			彩の国大学コンソーシアムへ加盟大学の内、10大学が単位互換に参加している。希望する学生は履修したい大学へ2,000円の登録料を支払うことで、科目数には制限は無い。
180	城西大学	彩の国大学コンソーシアム協定による教職員研修会	平成19年度	大学・短大（大学・短大間連携）			協定に加盟する大学対象に、当番校の特色を生かして交代で年数回実施。
181	城西大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等
182	城西大学	ミャンマーホストタウンプロジェクト	令和元年度	自治体（行政）			鶴ヶ島市との相互連携協力に関する協定書に基づき、ミャンマーからのオリンピック選手団（柔道選手5名、陸上競技選手4名、コーチ各1名、合計11名）の事前キャンプ受け入れで、本学からは施設の貸出や、学内の専門家からの指導など連携事業を実施した。また、本学医療栄養学科教員による、スポーツと栄養という観点からの講座や、同学科の学生たちのサポートも交えながら、アスリート向けの昼食を学内食堂にて提供した。
183	城西大学	越生町との連携協力	令和元年度	自治体（行政）			連携協力のもと、産業、文化、学術等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与する。 令和元年度は、越生町内の中学校と部活動の連携を大学の施設を利用して実施した。今年度は男子駅伝部と陸上競技部の2団体で実施した。発展途上である中学生の技術向上への寄与や学生・生徒の交流を通じて相互のモチベーション向上につながった。
184	城西大学	ときがわ町との連携協力	令和元年度	自治体（行政）			連携協力のもと、産業、文化、学術等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与する。 令和元年度は、比企郡市給食センター連絡協議会 所長・栄養士合同研修会において、薬学部医療栄養学科の教員が講演および意見交換を行った。
185	女子栄養大学	鴻巣市でエディブルフラワーを使用したメニュー開発	令和1年度	自治体（行政）			連携協定を締結している日本薬科大学との「薬食同源プロジェクト」の取り組みの一環として、両大学の学生考案によるエディブルフラワー（食用花）を使用したメニューを期間限定で提供。「花の町 鴻巣市」を食用花で盛り上げようとの想いから共同でメニュー開発を行った。
186	女子栄養大学	ふじみ野市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			「昭和100年大学」元気健康学部・健康のための教養学科の講師依頼があり、上福岡公民館で「高齢者の栄養学i」について、講義を行った。60代、70代の方を中心に約60名が参加。
187	女子栄養大学	富士見市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			富士見市主催の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業「セルビア語&セルビア料理教室」がふじみ野駅前「ピアザ☆ふじみ」で開催され、調理補助として協力。市内在住の20名が参加。セルビア共和国の家庭料理4品を作り、交流を図った。
188	女子栄養大学	鳩山町との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			鳩山町食生活改善推進員21名が研修のため坂戸キャンパスを来訪。連携事業の一つとして、「講話・学食体験」を実施。
189	女子栄養大学	埼玉縣信用金庫主催「さいしん夏休みキッズスクール」に参加	令和1年度	産業界（企業等）			埼玉縣信用金庫本店（熊谷市）で開催された「さいしん夏休みキッズスクール」において、ものづくり体験の授業「マジパン細工」の講師を務めた。ものづくり体験等を通じて、みんなで楽しくお金に関わる知識を学ぶことを目的とした同金庫主催の企画に参加するのは、今年で3回目。
190	女子栄養大学	川越市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			川越市中央公民館にて、市内の小学生が参加した「こどもクッキング教室」に協力。
191	女子栄養大学	埼玉県産農畜産物を使用したメニュー開発	令和1年度	自治体（行政）			埼玉県・全国農業協同組合連合会埼玉県本部・公益財団法人埼玉県学校給食会との協力により、県産農畜産物を使用した3食餃子「豚de野菜（とんでやさい）餃子」を開発。県産農畜産物の魅力を伝えるとともに消費拡大を目的としたもので、食文化栄養学科学生が参加し、考案。
192	女子栄養大学	富士見市オリパラ1年前イベントに協力	令和1年度	自治体（行政）			富士見市でオリンピック・パラリンピック1年前イベントが開催され、市のホストタウンとして登録されたセルビア共和国のPRとして、セルビア料理の試食提供と販売等を行った。
193	女子栄養大学	ふじみ野市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			ふじみ野市の開催する高齢者向けの学びの場である「昭和100年大学」にて元気健康学部・健康のための教養学科「高齢者の栄養学」を開催。「65歳からの体重コントロールと食生活」について、講義を行った。
194	女子栄養大学	春日部市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			春日部市保健センターで市民に向けた「体験型栄養セミナー ～バランス満点お弁当～」が開催され、「3・1・2弁当箱法」の講義と演習を行った。また、バランス満点弁当のメニューも監修した。
195	女子栄養大学	埼玉県「フードロス対策講座」に参加協力	令和1年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		「そごう大宮店 Eco Weeks」における「フードロス対策講座」に参加協力。実演を交え、フードロスを削減するレシピ、調理方法、食材の保存方法を紹介。
196	女子栄養大学	富士見市ふるさと祭りに参加	令和1年度	自治体（行政）			富士見市ふるさと祭りの富士見市ブースにおいて、市のホストタウンであるセルビア共和国のPRとしてセルビア共和国の料理、サワーチェリーケーキ・ラズベリーケーキ・ココナツポール・セルビアコロケの販売を行った。
197	女子栄養大学	三芳町産「みよし野菜」を使用したレシピの試食会	令和1年度	自治体（行政）			三芳町産の「みよし野菜」を使用した「癒しのレシピ」の試食会を行った。「みよし野菜」の周知やブランド化を目的に活動している「みよし野菜ブランド化推進研究会」と「食料・地域経済学研究室」のゼミ生が協力して作りあげた。学生たちは、同町の圃場や野菜販売施設を実際に見学し、農家や町の人たちの意見を取り入れながら、ハヤシライス、季節の野菜の天ぷら、米粉のピザをメインとした3つのレシピを考案した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
198	女子栄養大学	春日部市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			・春日部市民文化会館で開催された「埼玉葛地区教育委員会連合会・東部地区教育長協議会合同研修会」で「学校教育における食育のあり方」について講演を行った。埼玉葛地区教育委員会連合会会員、同地区内の指導主事・事務局職員、北埼玉地区教育委員会連合会所属教育長の約90名が参加。 ・春日部市中央公民館講堂で開催された「保育講座」で、「子どもの味覚と食育～子どもにとっての食の豊かさを考える～」について講演を行った。市内保育施設に勤務する保育士の方々を中心に約200名が参加。
199	女子栄養大学	富士見市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			富士見市健康増進センターが主催となり、ふじみ野駅前「ピアザ☆ふじみ」にて「親子de簡単手作りおやつ教室～クリスマスのお菓子を作ろう♪～」と「手作りおせち料理教室」の2つの講座が開催され、講師として参加。
200	女子栄養大学	国立女性教育会館 創立記念週間イベントに協力	令和1年度	産業界（企業等）			連携先である国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町）の創立記念週間イベント（NWECAアニバーサリーウィーク）が開催され、本学とコラボしたイベントが開催された。 ①館内レストランにて本学カフェテリア監修のランチを提供 ②館内売店にて「プランタン」の焼き菓子・クッキーを販売 ③ミニ講義「成長期に食べたいおやつは？」の開催
201	女子栄養大学	「川越市場まつり」に出展	令和1年度	産業界（企業等）			連携先である川越総合卸売市場株式会社が主催する「川越市場まつり」に出展。焼き菓子等の販売、料検5級問題チャレンジを行う等の学園の広報活動を行った。
202	女子栄養大学	鶴ヶ島市チャレンジショップで学生考案メニューを提供	令和1年度	自治体（行政）			鶴ヶ島市チャレンジショップ「つるカフェ」にて、期間限定の地域振興カフェ「IRODORI CAFÉ」をオープンし、秩父出身の食文化栄養学科4年生が鶴ヶ島市と秩父地域のコラボランチプレートを提供した。
203	女子栄養大学	三郷市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			三郷市内小学校での「令和元年度埼玉県小・中学校食育指導力向上授業研究協議会」において「教育と食育の関わり」について講演
204	駿河台大学	彩・ふるさと喜樂学	平成15年度	自治体（行政）			地域の「知の核」として、地域社会の発展に貢献するため、生涯学習の機会を提供している。本講座は、地元の飯能市をより深く知るための地域学の講座「飯能学」としてスタートし、その後、対象を埼玉県西部（所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市）に広げた。毎年様々なテーマを取り上げ、本学教員に加えて、近隣市の教育委員会の協力のもと地域のことをお話できる方や地域で活躍している識者・専門家の方などに講師をお願いしている。前期7回、後期7回。
205	駿河台大学	市民の大学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	平成10年度	自治体（行政）			本学教員や各分野の識者・専門家を講師に迎え、毎年4テーマをそれぞれ4回連続の講座で取り上げている。毎年1テーマは、飯能市教育委員会から推薦された講師で講座を展開している。16回。
206	駿河台大学	森林環境プロジェクト（「駿大の森」百年協定に基づく飯能活性化）	平成18年度	自治体（行政）			飯能市と森林環境プロジェクトの実施に関する協定を平成18年度に締結した。今後100年間を目途として、市と大学が市有林における森林育成活動を通して、森林の維持・保全、森林文化の理解・振興、地域活性化を実現することを目的としている。市は大学に対して市有林を無償で利用に供するほか、必要な支援を行っており、大学は無償供与を受ける市有林の一部を「駿大の森」と称し、そこでは森林育成作業の体験学習や、農山村地域の生活と文化に関するフィールド学習などを実施する。 また、大学は、敷地内の「駿大の里山」において、市内の小、中学校の児童、生徒を受入れ、飯能市「水と緑の学習推進事業 駿河台大学学習林活用実習」に協力している。
207	駿河台大学	学生参加による「まち」活性化プロジェクト	平成18年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		近隣地域を中心に商店街、企業団体等の地域活動を学生が体験学習し、コミュニケーション能力や社会性、現実的な職業観を涵養するとともに、地域社会の重要性を認識し、大学として地域の活性化及び共生を目指す。 今年度実施したプログラムは、「地域IT化サポート（初心者パソコン講座開催）」「市街地活性化」「まちおこしイベント」「子どもボランティア」「小学生の通学合宿サポート」「入間川環境保全活動」「地域教育支援」「多文化多言語交流カフェ」「地域を紹介する映像制作」など。
208	駿河台大学	地域インターンシップ	平成15年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		近隣自治体・商工団体・企業等にインターンシップ実習の受入を依頼し、協定を締結したうえで、5日間から2週間ほど受け入れていただいている。学生は、実習にあたって、事前研修を行い、実習後、報告会で実習の成果を発表する。最終的には、インターンシップⅠという科目名で単位が認定される。 令和元年度の地域インターンシップ実績は、地域の企業、自治体の協力の下に、31企業・団体（5自治体含む）に49名の学生を受け入れていただいた。
209	駿河台大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成19年度	産業界（企業等）			地域企業である飯能信用金庫と地域における産学連携活動を推進するため相互に協力している。地域社会の発展に貢献することを目的としており、事業内容としては、以下の事業について提携・協力を行っている。 （1）地域の経済及び企業経営に関する調査・研究 （2）地域振興活動推進への助言・指導 （3）地域企業へのインターンシップの促進 （4）大学における金融教育の促進 （5）地域教育機関における金融教育方法の共同研究 （6）その他産学連携活動に寄与する事項の推進 今年度の主な実績は「輝け！飯能プランニングコンテスト」の開催、「地域活性化講演会」の開催など。
210	駿河台大学	市民のための無料法律相談（飯能市、入間市）	平成6年度	自治体（行政）			飯能市および入間市の市民相談への貢献および本学学生に対する法学実地教育の機会として、両市との共同開催による市民のための無料法律相談を行っている。平成17年度には飯能市と、平成18年度には入間市と、それぞれ法律相談に係る協定も結んでいる。
211	駿河台大学	子ども大学はんのう	平成26年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）	飯能商工会議所・飯能市教育委員会・飯能信用金庫と実行委員会を組織し、小学生が学校では学ぶことができないことを大学の教員や地域の専門家などが5日間にわたり授業を行う。 令和元年度は50人の小学生が参加した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
212	駿河台大学	飯能市コーディネーショントレーニング推進協議会	平成26年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		飯能市、飯能市体育協会と連携し、コーディネーショントレーニングの普及に関する活動を行うことにより、飯能市民の健康づくりと運動能力の向上及びコーディネーショントレーニングによるまちづくりに寄与することを目的に、協議会を設立。保育園児や小学生の体験会だけではなく、指導者育成を目的とするセミナーも開催している。
213	駿河台大学	中山間「ふるさと支援隊」	平成30年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			飯能市下名栗で埼玉県の委託事業である中山間「ふるさと支援隊」を実施している。地域住民の支援のもと、学生が地域の行事に協力するほか、間伐後、放置された木々を有効利用し、地域活性につながる楽しいプロジェクトとして、「Hanno Happy Woody Project」を展開している。木の人形を100体、下名栗に設置し、インスタ映えする観光まちづくりを目指すものである。
214	駿河台大学	ワクワクフェスタ	平成26年度	自治体（行政）			親子や大人と子どもの交流を深め、子育てが楽しくワクワクすることを実感してもらうことを目的に、飯能市と連携し、本学を会場に「親子でコーディネーショントレーニング体験」、「自分の家を探そう!」、「芝生で遊ぼう」の3つのプログラムを実施。本学教職員及び学生が指導者となり、令和元年度は70組217人の親子が参加した。
215	駿河台大学	夏休み親子映画会	平成2年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		毎年8月に開催している。近隣市だけではなく都内からも多数の幼児や小学生が本学キャンパスに訪れ、映画やキャンパスを楽しんでいる。保育園や学童などの団体での参加も多い。令和元年度は下記TJUPの県西部地域大学リレー公開講座として開催し、約400名の方が来場した。
216	駿河台大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）形成	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）			東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する18大学・短大で構成する地域連携プラットフォーム（TJUP）に参画。参加校は相互に、また、自治体、産業界とも連携・協力して、人口の減少、少子高齢化の進行、コミュニティの弱体化、地域の活力低下、産業・経済の後退など地域社会が抱える諸課題の解決に取り組み、地域の自立と持続的な発展に寄与することを目的に発足した。
217	駿河台大学	駿河台大学 健康講座	平成30年度	産業界（企業等）			埼玉石心会病院と連携し、9月に「駿河台大学 健康講座」を実施（3月は中止）。医療の専門家による講座を実施することにより、地域住民の病気や医療に関する知識を高め、健康増進に寄与することを目的としている。
218	駿河台大学	中学生社会体験チャレンジ	不明	自治体（行政）			生徒の校外授業の一環として、地域の事業所における社会体験を通じ、勤労の尊さや意義を学び、自立心をもって"生きる力"を身に付けることをサポート。令和元年度は飯能市立中学校3校と入間市立中学校1校の生徒を受け入れた。
219	駿河台大学	飯能市選挙サポーター	平成28年度	自治体（行政）			飯能市から任命された学生が、選挙での若者の投票率を上げるために啓蒙活動（学園祭での発表や模擬選挙の手伝い等）などを行う。
220	聖学院大学	さいたま北商工協同組合との連携		産業界（企業等）			さいたま北商工協同組合に大学として会員加入。「さいたまKI-TAまつり」など地域活性化活動に学生が運営ボランティアとして参加。その他、組合会員企業とインターンシップの促進に関する覚書や、組合が管理する宮原駅近隣のコミュニティカフェ施設使用に関する覚書を交わし、連携を図っている。
221	聖学院大学	上尾シラコバト住宅に関する協定に基く連携	平成26年度	自治体（行政）			県と締結した「特別県営上尾シラコバト住宅の共助による活性化促進に係る連携協定」に基づき、8名の学生が入居し、団地活性化の取組を実施。また、学生が入居したことにより「しらこぼと夏祭り」が再開され、留学生を含む入居学生が運営などに参加。
222	聖学院大学	子ども大学あげお・いな・おけがわ		自治体（行政）			埼玉県教育局、上尾市教育委員会、桶川市教育委員会、伊奈町教育委員会、日本薬科大学と本学で組織された子ども大学あげお・いな・おけがわ実行委員会の主催で実施している。小学校4～6年生までの違う学校・学年の子どもたちが大学のキャンパスで学ぶ子供のための大学で、教員が本学の特色を生かした学びの機会を提供している。
223	聖学院大学	大谷地区自主防災啓発事業	平成27年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		上尾市大谷支所、大谷地区自主防災組織連合会と連携し年に1回情報交換も兼ねた防災講座を実施している。
224	聖学院大学	アッピー応援隊		地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		こども心理学科の学生が中心となり、上尾市のマスコットキャラ「アッピー」を上尾市内の保育所・幼稚園の子どもたちに親しんでもらう訪問活動を実施。
225	聖学院大学	パワフルキッズ	平成29年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		埼玉県から依頼を受け、一般社団法人すくすく広場、シラコバト団地自治会と連携し、上尾市にある県営上尾シラコバト団地の活性化につながる子どもたちのあそび場の提供を行っており、七夕やハロウィン、ひな祭りなど季節にあわせたイベントを継続している。
226	聖学院大学	福祉教育について考える会こころの輪「ここ輪」	平成29年度	自治体（行政）			「こころの輪（通称：ここ輪）」は、精神保健福祉領域における福祉教育活動を行っています。「みんなで学ぼうメンタルヘルス、共に学ぼうリカバリーストーリー」を合言葉に、当事者の方々と一緒に学ぶことを大切にしながら、「誰もが住みやすい地域にしていくこと」を目指し活動しており、行政の人権講演会の講師等として当事者とともに活動を行っています。
227	聖学院大学	Discoveryあげお	平成29年度	自治体（行政）			政治経済学科のゼミの授業の一環として、上尾市商工課と連携し、上尾市の魅力を留学生と日本人学生が協力して国内外に発信することを目的として活動している。
228	聖学院大学	大学コンソーシアムさいたま		大学・短大（大学・短大間連携）			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。
229	聖学院大学	聖学院大学公開講座		自治体（行政）			さいたま市教育委員会・上尾市教育委員会と共催して、聖学院大学公開講座を実施している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
230	東京家政大学	子ども大学さやま・いるま	平成23年度	自治体（行政）			狭山市・入間市の教育委員会と実行委員会を組織し、教育資源を活用しながら子どもの知的好奇心を刺激する学びを提供する。時期 7月～11月回数 5回対象 狭山市・入間市在住の小学校4～6年生
231	東京家政大学	シンポジウム	平成20年度	自治体（行政）			<狭山市教育委員会>共催「生涯スポーツ社会の実現に向けて ～いつでもどこでも いつまでも 誰もがスポーツに親しめるまち～」平成29・30年度の調査研究事業の一環として実施した「狭山市と東京家政大学とのスポーツと健康・食生活に関するアンケート調査」の調査結果にも触れながら、生涯スポーツ社会を目指すための可能性、あり方を考えるシンポジウムを実施。コーディネーター：福井 至（東京家政大学人文学部心理カウンセリング学科教授）登壇者：池森 隆虎（東京家政大学子ども学部子ども支援学科教授） 宇和川 小百合（東京家政大学家政学部栄養学科准教授） 色川 木綿子（東京家政大学家政学部栄養学科講師） 海老沢 洋（セコム株式会社ラグビー部セコムラグッツOB 現在チームスタッフ） 五十嵐 和也（狭山市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課課長）会場：東京家政大学狭山校舎AV教室対象：狭山市在住・在勤・在学の方、東京家政大学学園関係者、その他
232	東京家政大学	ジュニアアカデミックスクール	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		<駿河台大学>共催、<狭山市教育委員会・入間市教育委員会・飯能市教育委員会>後援の講座を実施。「楽しくプログラミングを学ぼう!!」対象：狭山市・入間市・飯能市在住の小学4～6年生会場 東京家政大学、駿河台大学
233	東京家政大学	狭山市共催講座	平成22年度	自治体（行政）			<狭山市>共催の講座を実施。①「スポーツ吹き矢健康法（スポーツ吹き矢教室）」②「体幹（腹筋・背筋）を鍛えて健康増進！ー運動と筋活動の関係を知ろうー」対象：狭山市在住・在勤の方
234	東京家政大学	狭山市・入間市共催講座	平成24年度	自治体（行政）			<狭山市・入間市>共催の子ども向けスポーツ講座を実施。「夏休みスポーツ体験教室」対象：狭山市・入間市に在住の小学3～
235	東京家政大学	狭山茶に関するモニタリング調査及び既存商品のパッケージに関わる意見聴取		自治体（行政）	産業界（企業等）		<狭山市農業振興課・狭山市茶業協会>との連携。狭山茶の付加価値を高め、さらなる知名度の向上を目指し、狭山市産狭山茶のブランド化事業に取り組むことを目的とする。学生と職員を対象に、狭山茶の茶葉を使用した緑茶、ほうじ茶、玄米茶、紅茶を試飲のうえ、「狭山茶に関するモニタリング調査及び既存商品のパッケージに関わる意見聴取」についてのアンケート調査を実施。
236	東京家政大学	小学校教員・学習支援者向け集中研修会	平成22年度	自治体（行政）			<入間市>共催の研修会を実施。「小学校外国語活動集中研修会」基礎から学び、外国語活動担当者や5・6年の学級担任以外の先生方にも取り組み易く、実践で十分役立つスキルを身につけることを目的とする。「理科観察実験実技研修会」理科の観察実験授業を「安全に」・「確実に」実施するための技術を身につけることを目的とする。対象：小学校または中学校教員、学習支援員として働いている方、小学校教員を目指している本学学生および関心のある本学学生
237	東京家政大学	入間市共催保育者研修会	令和元年度	自治体（行政）			<入間市>共催の保育者研修会を実施。「子どもを支援する保育とは」対象：新任から10年未満の保育者（幼稚園教諭・保育士・保育教諭）、幼稚園教諭・保育士を目指す本学学生
238	東京家政大学	≪TJUP≫県西部地域大学リレー公開講座	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）			≪TJUP≫県西部地域大学 駿河台大学・東邦音楽大学・東京家政大学・西武文理大学・埼玉医科大学・埼玉医科大学短期大学の計6大学が、リレー公開講座を実施。歯と脳の関係性を踏まえた虫歯予防法・健康法を学び、親子の健康的な生活につなげることを目的とする。「親子で親しむ・楽しむ・感じる!! 『学ぼう！ 歯の健康と脳の健康』」対象：3歳から小学3年生とその保護者会場：東京家政大学
239	東京家政大学	≪TJUP≫比企地域大学等連携協議会 リレー講座	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）			<比企地域大学等連携協議会・埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）・東松山市>共催のリレー講座を実施。参加校＝大東文化大学・東京電機大学・武蔵丘短期大学・山村学園短期大学・立正大学・十文字学園女子大学・女子栄養大学・東京家政大学「特別支援教育の教材とは？ー見て触って学ぼうー」会場：東松山市総合会館303会議室
240	東京家政大学	≪TJUP≫大江戸新座祭り	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）			埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）の会員校及び特定地域が互いに有する諸種の資源を提供し、それらを有効に活用することにより、地域及び教育機関の活性化を目指すことを目的とする地域連携事業。十文字学園女子大学が所在する新座市が実施している「大江戸新座祭り」に、お祭りボランティアとして子ども学部4年生が参加。
241	東京家政大学	≪TJUP≫東松山市立第一小学校運動会	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）			埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）の会員校及び特定地域が互いに有する諸種の資源を提供し、それらを有効に活用することにより、地域及び教育機関の活性化を目指すことを目的とする地域連携事業。東松山市松山第一小学校の運動会当日運営ボランティアスタッフとして、健康科学部1年生と2年生の2名が参加。
242	東京家政大学	≪TJUP≫東京電機大学理工学部公開講座	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）			埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）の会員校及び特定地域が互いに有する諸種の資源を提供し、それらを有効に活用することにより、地域及び教育機関の活性化を目指すことを目的とする地域連携事業。東京電機大学理工学部公開講座「オーケストラを楽しもう！」に、当日運営・誘導スタッフとして地域連携推進センターより1名参加。
243	東京家政大学	彩の国大学コンソーシアム公開講座	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）			<彩の国 大学コンソーシアム>による公開講座『さいたま遊学2019～知的、快適生活のススメ～』を実施。「子どもをとりまく健康課題の変化と養護教諭」対象：高校生から社会人まで会場：ウエスタ川越 多目的ホール
244	東京国際大学	川越市インターンシップ	平成18年度	自治体（行政）			平成18年度より自治体である「川越市」の協力を得て、毎夏2～4名の学生を派遣し就業体験を実施。 <令和元年度> 実施期間：8月13日～8月16日 川越市役所観光課へ1名、職員課へ1名 計2名の学生派遣。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
245	東京国際大学	川越大学間連携講座東京国際大学共催事業	平成24年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		川越市内にある4大学と連携し川越市民対象の「川越大学間連携講座」を開催 <令和元年度> 開催日：12月7日(土) 10:00～12:00 演題：オリンピック 政界の超人パフォーマンスと日常生活比較 ～素朴な疑問からオリンピックアスリートを知ろう～ 講師：高橋 孝徳(人間社会学部専任講師) 会場：東京国際大学 第2キャンパス 2111教室 受講料：500円
246	東京国際大学	川越商工会議所との連携事業「インターンシップ」他	平成27年度	産業界（企業等）			キャリアプランニング教育の一環として商学部学生が地元企業の実態を知る機会を持ち就業機会の拡大を目的とした川越商工会議所との連携事業「インターンシップ」他 <令和元年度> 【インターンシップ】 日時：7月30日～8月30日の期間で1日～12日間 参加学生：19名（対象：商学部2・3年生） 受入企業12社 【インターンシップ報告会・意見交換会】 日時：10月30日（水）13：00～15：30 場所：東京国際大学 第1キャンパス 112教室 地元企業12社が商学部学生19名を受け入れたインターンシップ事業。 実習参加学生のインターンシップ実習報告及び受入企業との意見交換会を実施。 同日開催：【インターンシップ報告会記念講演会】 演題：『自社の強み弱みを知る株価ドック』 講師：鯖田豊則（商学部教授） 【川越きり企業NAVI企業フォーカスレポート】 川越事業者の「生の声」を伝える企業フォーカスレポートの作成を東京国際大学の学生が行う。 ■参加学生：5名、取材事業所数：5箇所
247	東京国際大学	リカレント教育（開放授業講座）	平成21年度	自治体（行政）			「埼玉県福祉部と東京国際大学との授業科目の開放に関する覚書」に基づき、県内在住の55歳以上の方を対象に授業科目の一部を開放。 <令和元年度> 春学期：4月2日～7月22日 「民法」「現代中国ビジネス事情I」「国際資源論」 3科目 秋学期：9月2日～12月16日 「製品ブランド論」「社会福祉概論」 2科目 授業回数：春秋学期15回（週1回又は週2回）又は30回（週2回）
248	東京国際大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成22年度	産業界（企業等）			飯能信用金庫と包括協定を結び、その一環として冠講座の提供、学生に各業界の就業体験を経験させるためにインターンシップ先の紹介・支援の提供等。 <令和元年度> 「飯能信用金庫寄附講座」 【地域金融最前線】 科目名：「地域金融講座（飯能信用金庫）」 曜日時限：水曜日2時限 対象学生：全学部2年生以上 開講期間：9月4日～12月11日(14回)
249	東京国際大学	「小江戸(川越)まちおこし」プロジェクト	平成25年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	文部科学省「平成25年度地（知）の拠点整備事業(COC事業）の拠点校として採択されたことを機に「地域を志向した教育・研究・社会貢献」を進めている。現在は文科省COC事業からは離れ、本学独自の取組としている。 地域のまちおこしの担い手となる『グローバル人材』を育成するために、大学・自治体（行政）・民間（企業及びNPO等）の3者が連携・協働し、①地域商業・産業の活性化②川越の文化・歴史的資産(観光資源)を国内外へ発信③「まちおこし活動」の第一線で活躍できる主体的な人材育成を目指し地域志向型の教育研究体制を整備・充実することが本事業の目的である <令和元年度> ■タイトル：川越公・民・学連携会議 日程：6月4日、8月7日、9月17日、10月25日、12月17日 場所：東京国際大学 第1キャンパス 2号館 232教室 概要：川越市役所、地元企業、本学による「川越公・民・学連携会議」。 本年度観光まちおこしワークショップ「プロジェクトB」では、川越市一番街の中心にある蔵造り資料館の一部である「添屋（そえや）」の利活用について、他の大学のゼミ生、川越市立博物館と共に「博学連携プロジェクト」としてPBL型授業を展開。



埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
250	東京国際大学	「スクール・インターンシップ」による学校支援事業	平成27年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		川越市教育委員会が市内近郊の大学と連携し、 ①市立小・中学校を対象に教職課程に在籍する学生を派遣し、学習指導の支援や部活動支援をとおして児童生徒の学力及び体力の向上を図ることをねらい、これからの学校教育を担う情熱をもった教師の育成を目的とする。 ②2020年度からの小学校での英語が教科化されることをうけて、川越市内小学校と言語コミュニケーション学部とで、「川越市小学校英語ティーチング・アシスタント」制度を導入。 <令和元年度> ①実施期間：6月17日～3月31日 派遣学生数：国際関係学部1名、人間社会学部12名 計13名 派遣学校：小学校）川越、第一、川越西、福原、高階、高階西、霞ヶ関、霞ヶ関東、霞ヶ関西、霞ヶ関南 中学校）霞ヶ関東、名畑、鯨井 活動内容：1) 授業における学習支援 2) 部活動における補助 3) 学校行事などにおける児童生徒の参加に関する支援 ②実施期間：5月29日～12月13日 派遣学生数：言語コミュニケーション学部2名 派遣学校：第一、高階北小学校 活動内容：外国語活動の授業における学習支援
251	東京国際大学	川越商工会議所連携事業「商学部公開授業」	平成27年度	産業界（企業等）			川越商工会議所と連携し、①事業の維持・継続・発展②事業の経営理念・経営目標・経営戦略③事業の承継と後継者の育成④事業承継と税制（資金調達）の観点より事業承継に関する基礎知識を埼玉県民へ一般公開する取組。 <令和元年度> 公開授業 「事業承継に関する基礎知識を習得する」 講師：飯野 邦彦（商学部教授） 春学期：4月2日（火）～7月19日（金）毎週火曜日、金曜日2時限 秋学期：9月3日（火）～12月13日（金）毎週火曜日、金曜日2時限 場所：東京国際大学 第1キャンパス 受講料：無料
252	東京国際大学	キャリアプランニング	平成25年度	公務員（行政）	警察（埼玉県警察本部）		<令和元年度> キャリア形成支援科目のひとつとして埼玉県警察幹部職員を講師として迎え、治安行政と個人や社会の安全を守るための警察行政について理解を深め、社会生活上犯罪被害を防止するための具体的な知識を習得することを到達目標とした授業を実施。 科目名：「地域の安全と警察」 曜日時限：火曜日3限 対象学生：全学部全学生 開講期間：9月3日～12月10日(14回)
253	東京国際大学	坂戸高校国際交流研修	平成28年度	幼保・小・中・高等学校等			坂戸高校の国際理解教育の一環として、留学生を坂戸高校へ派遣し、少人数でのフリートークを通じた、国際相互理解と英語でのコミュニケーションを目的とした国際交流企画。 <令和元年度> 日時：5月28日（火）13：00-14：00 場所：坂戸高校 派遣人数：留学生18名
254	東京国際大学	川越国際交流センター受付業務委託	平成23年度	自治体（行政）			川越市国際文化交流課の業務委託を受け、川越市国際交流センターに留学生を派遣し、受付業務を担当する。業務内容として、来館者への対応、インターネット利用希望者の利用受付、来館者の集計、センター内の見回り、簡単な通訳・翻訳などである。 <令和元年度> 期間： 2019年4月1日～9月30日（158日） 曜日： 月曜日～日曜日（火曜日を除く） 時間： 9：30～16：00 場所： 川越市国際交流センター 派遣留学生： 8名
255	東京国際大学	川越市外国籍市民会議	平成30年度	自治体（行政）			川越市主催の多文化共生と国際交流・協力の推進のための川越市外国籍市民会議に参加。 <令和元年度> 東京国際大学より留学生1名が委員として参加。
256	東京国際大学	おもてなし英語講座	平成29年度	自治体（行政）			<令和元年度> 2020年東京オリンピックのゴルフ会場が地元川越市で開催されるため、多くの外国人観光客が川越市を訪れることが予想される。そのため、市職員がすこしでも「おもてなし」の心を英語で表現できるようにするため、職員に対して東京国際大学英語教員による初級英語講座（全7回）を開催している。
257	東京国際大学	国際理解講座	令和元年度	自治体（行政）			<令和元年度> 2020年東京オリンピックのゴルフ会場が地元川越市で開催されるため、多くの外国人観光客が川越市を訪れることが予想される。そのため、市の活性化をテーマに「川越おもてなしプラン」が策定され、その一環として、市民を対象にした外国人観光客への多言語対応の取り組み、「おもてなし英語・ベトナム語」「おもてなし英語・中国語」と題した国際理解講座が行われており、東京国際大学GTI教員が英語の回（各講座4回）を担当している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
258	東京国際大学	川越産業フェスティバル	平成28年度	自治体（行政）			川越市産業振興課から商学部が参加依頼されたもので川越市の産業振興のためのフェスティバル。本年度も、商学部の斐品正照ゼミが出展した。5年連続出展の町おこしのボランティア活動であるが、本年度は、昨年のユネスコの無形文化遺産となった川越まつりの山車の歴史を楽しみながら学べるゲームを更に発展させたものを、企画・制作した。現代と江戸時代の山車を再現してゲームの体験版も完成させ、小学生を中心に大盛況となった。 <令和元年度> 日時：11月23日（土）・11月24日（日） 会場：ウェスタ川越
259	東京国際大学	学生キャリア支援	平成30年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		就職価値観を醸成するという目的で埼玉県庁の補助金を受け、県庁と（株）マイナビとの連携のもと、埼玉県の企業から、具体的な経営課題を提示してもらい、学生がその課題解決のプロセスを体験する中で学習していくPBL(Problem Based Learning)型の授業で展開した。本年度は、（株）アースダンボール社の経営改善を課題を設定し、学生自身が課題解決に向けて積極的に取り組んだ。埼玉県ビジネスインカレでは、本学からこの授業から選出され代表として2組が参加した。本年度から「ビジネス・ソリューション」と科目名を変えて展開した。
260	東京国際大学	ふじみ野市学生インターンシップ	平成17年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		ふじみ野市との学生インターンシップ活用事業に関する協定に基づき、教員を志し、また教育に関心をもつ本学学生の社会貢献実習の一環として、小学校及び中学校へフレッシュサポーターとして言語コミュニケーション学部3年生を派遣。 <令和元年度> 派遣期間：秋学期 派遣学生4名
261	東京国際大学	鶴ヶ島市学生インターンシップ	平成25年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		鶴ヶ島市教育委員会と東京国際大学が、学校教育分野における連携、協力に努めることにより、相互の教育の充実及び人材の育成、広く社会の発展に寄与することを目的とし、鶴ヶ島市の小・中学校へ教育支援学生ボランティアとして言語コミュニケーション学部3年生を派遣。 <令和元年度> 派遣期間：秋学期 派遣学生2名
262	東京国際大学	彩の国はたらく情報館企業の魅力動画	平成26年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		<令和元年度> 埼玉県産業人材育成課との共同作業。県が企業を募集、大学がその企業のPR映像を作成するという事業。国際関係学部が参加し、現在は「映像制作Ⅱ」の授業で行い、県内企業の魅力を動画で紹介。（株）長谷川製作所、（株）第一金属製作所、（株）メガネマーケット、（株）チェリービーの動画を作成、県のホームページにアップされる。
263	東京国際大学	近隣小学校への学習支援	平成27年度		幼保・小・中・高等学校等		霞ヶ関東小学校、霞ヶ関北小学校および鯨井中学校の要請に基づき、以下の活動を国際関係学部の「現場教育プログラム：学習支援異文化交流ボランティア活動」の一環として実施。 1. 学習支援活動 （1）外国籍児童の日本語支援活動：霞ヶ関北小学校 実施期間：5月～3月末 対象：ネパール人児童3年生1名と5年生1名 内容：外国籍児童の日本語支援 活動日：週3日から4日 1日3～4時間 参加者：国際関係学部1～4年生（留学生含）及び言語コミュニケーション学部登録学生68名中、週6～7名のシフト制 （2）外国籍児童と日本人児童の学習支援活動：霞ヶ関東小学校 実施期間：5月～3月末 対象：ネパール児童1名 日本人児童4～5名 内容：学習についていきにくい児童（外国籍児童1名含）の学習支援 活動日：週3日から4日 1日3～4時間 参加者：国際関係学部1～4年生（留学生含）及び言語コミュニケーション学部登録学生68名中、週6～7名のシフト制 （3）中学校生徒の学習サポート：鯨井中学校 実施期間：5月～11月 合計7回 定期試験前の日曜日 8：20-11：30 対象：中学校1年から3年の生徒 内容：生徒の定期試験前／夏季講習の自習監督として学習サポーターを派遣 参加者：国際関係学部生、言語コミュニケーション学部生1年生～4年生 21名 2. 異文化交流活動 霞ヶ関東小学校 ワールドフェスティバル 実施期間：11月22日 10:50-12:30 対象：1年生から6年生までの12クラス 活動内容：留学生が自国文化や挨拶、食べ物を紹介、児童たちが考えた遊びで交流 参加者：国際関係学部(留学生24名 日本人学生12名)
264	東京国際大学	川越市観光PR画像・制作事業	令和元年度	自治体（行政）			内容：川越市への誘客促進を図るとともに観光を振興する目的のもと、観光スポット・イベント・食などの川越を訪れたいと思うような画像及び映像を制作する。 活動期間：6月末～10月 参加者：本学学生11名 成果：4本の観光PR映像を制作し、川越市ホームページなどで放映

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
265	東京国際大学	現代GP子ども支援プロジェクト	平成19年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		平成19年に文部科学省の採択を受けて始まった人間社会学部の学生が行っているボランティア活動である。現在は不登校や障害を持つ児童生徒への学習支援や家庭訪問等を行うことで当該児童への支援を行うと共に、学生自身の「気づき」や「成長」を促して行く活動を行っている。ボランティア学生（スチューデント・サポーター）の活動場所は主に市内の小中学校や教育センターであり、教職員、教育関係機関が協働・連携して行っている。 <令和元年度> ■参加学生：実数8名、活動回数：約120回
266	東京電機大学	TDU産学交流会	平成2年度	産業界（企業等）			日刊工業新聞社川越支社が事務局となり、講演会、企業視察、工場見学、事例発表会、親睦ゴルフ大会、一泊研修、学生向けの企業研究会など、年間を通じて開催し、会員企業と本学との連携を図っている。
267	東京電機大学	公開講座「オーケストラを楽しもう」	平成10年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	産業界（企業等）	本学学生の管弦楽団を中心に、東邦音楽大学、プロの演奏者の3部構成の公開講座として、楽器の説明や参加者が参加できる指揮者体験等、音楽の面白さを説明する。「鳩山町教育委員会」「東松山市教育委員会」「埼玉まなびいプロジェクト」「埼玉芸術文化祭2019」より後援・協賛を受けている。
268	東京電機大学	彩の国大学コンソーシアム協定による公開講座	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			彩の国大学コンソーシアムに加盟している17大学の内、12大学が公開講座に参加している。大学相互の協力交流を通じ、既存の知的資源と人的資源の活用可能性を社会に広報し、学生や社会人等にとって価値のある学修活動の場を広く提供する。近隣の施設において、1大学1講座を実施している。
269	東京電機大学	彩の国大学コンソーシアム協定による単位互換	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			彩の国大学コンソーシアムへ加盟している17大学の内、10大学が単位互換に参加している。希望する学生は履修したい大学へ2,000円の登録料を支払うことで、科目数には制限は無い。
270	東京電機大学	国際野外の表現展	平成15年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			外部団体である実行委員会より依頼を受け、キャンパス内へ国内外のアーティストの里山空間に表現された作品を設置している。これにより、人里はなれたキャンパスへ地域住民が散策に訪れ、地域に潜在する様々な魅力を見いだしている。
271	東京電機大学	彩の国大学コンソーシアム協定による教職員研修会	平成17年度	大学・短大（大学・短大間連携）			協定に加盟する17大学対象に、当番校の特色を生かして交代で年数回実施している。H28年度は2回の実施を予定している。
272	東京電機大学	リカレント教育	平成20年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		埼玉県福祉部高齢者福祉課からの依頼により、県内19大学において、55歳以上の県内在住者へ大学の一部の授業を開放する。受講生は延べ100名程度となっている。
273	東京電機大学	県立松山高等学校SSH	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			松山高等学校が指定された文部科学省のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業に対して、平成24年度より松山高等学校からの依頼を受けて、物理部の生徒に電子工学の指導を行った。大学において全6回の講義やもの作りを行い、科学技術に対する生徒の興味関心を喚起し、科学的素養の育成に役立てると共に、生徒の進路選択の一助とする。
274	東京電機大学	子ども大学はとやま	平成26年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	産業界（企業等）	子ども大学はとやまは、埼玉県が行っている「元気な地域を創造する子ども大学推進事業」により、鳩山町が今年度から参画し、町からの依頼により本学と連携して実施。対象児童は、鳩山町内の4つの小学校の児童4年生から6年生の30人。6月から11月まで、計6回の講義を行った。
275	東京電機大学	北坂戸にぎわいサロン	平成26年度	自治体（行政）	その他		坂戸市との協定に基づき、東武東上線北坂戸駅前にあるUR所有の店舗を借り受け、地域の活性化を目的として様々な活動を行っている。教員や学生がパソコン相談やiPad講習会を実施するほか、地域住民のボランティアが様々な講座を開講して、活発な活動を行っている。
276	東京電機大学	北坂戸ふれあいまつり	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			北坂戸にぎわいサロンが所在する地域での夏祭において、サロンを開放して学生の企画したイベントを実施した。昨年に引き続きラジコンカーを制作して地域の子どもの中心にレースなどを行い、2日間で100名強の子どもたちが参加した。
277	東京電機大学	さくらサイエンスプログラム	平成26年度	産業界（企業等）			近隣にある一般財団法人リモートセンシング技術センターがJSTによる「日本・アジア・青少年サイエンス交流事業」に採択されたことに伴い、会場使用の協力とリモートセンシングの授業を本学の教員が担当した。
278	東京電機大学	鳩山中学校キャリア体験プログラム	平成28年度	幼保・小・中・高等学校等			鳩山中学校からの依頼により、2年次生(105名)に対して大学を理解するために2回にわたり講義、キャンパス見学、学食体験を行った。
279	東京電機大学	宇宙・産学官・地域連携コンソーシアム	平成28年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	比企地域の自治体や大学、企業等が連携し地域が抱える様々な課題に対する解決策を協議し、それを実現させるための活動を支援し、地域の振興と発展に寄与する。平成28年度はワークショップや講演会を実施した。
280	東京電機大学	東松山市まちなかりノベーション	平成30年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		東松山市により平成29年度より開始されていたが、本学としては今年度より参加。東松山市駅前の活性化を目的として、商店街の空き店舗を利用して、イベントや地元の特産品を販売する企画を近隣5大学(短大含む)の学生と共に検討しているが、現時点ではイベント実施のみ。
281	東京電機大学	知財を活かした商品開発	平成30年度	産業界（企業等）			さいしんコロボ産学官(事務局:埼玉県信用金庫)において、開放特許を利用した新たな商品のアイデアを学生に出してもらった。参加した学生に対して、事務局が特許元や関連する企業へのヒアリング等をセッティングして、学生は利便性や費用を含み検討する。検討した結果は様々な企業関係者に対するプレゼンを行い、優秀企画の商品化を行う。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
282	東京電機大学	比企地域大学等連携協議会 (Dear my net)	平成30年度	大学・短大 (大学・短大間連携)	自治体 (行政)		近隣5大学(短大含む)において、東松山市のスリーデーマーチでのごみ拾い、リレー講座、ランチパックプロジェクトを実施している。
283	東京電機大学	地域100人男女会	平成30年度	自治体 (行政)	幼保・小・中・高等学校等	大学・短大 (大学・短大間連携)	カフェのようにくつろいだ雰囲気の中で、小グループで席替えをしながら議論を深める話し合いの手法で、沢山の参加者とざっくばらんに意見を交換する。参加者は高校生・大学生・一般市民で男女共同参画や男女の働き方や家庭生活について話し合った。
284	東京電機大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大 (大学・短大間連携)	自治体 (行政)	産業界 (企業等)	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・人事交流・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等
285	東邦音楽大学	南古谷ウインドオーケストラ	平成17年度	幼保・小・中・高等学校等			少子化に伴い、個々の吹奏楽の団体では部員も減少し、十分な編成を組むことが出来なくなってきたこと、吹奏楽の練習等を行うための施設の確保が難しいこと、さらに指導者が不足していることから、川越市南古谷地域子どもサポート委員会との連携により、川越市南古谷の中学校3校（南古谷中学校・東中学校・砂中学校）の吹奏楽部員を核に演奏活動を行っている。平成28年度より、一定の基準をクリアすれば単位認定を行っている。
286	東邦音楽大学	東邦音楽大学 管打楽器実技講習会 ～プラスクリニック～	平成12年度	その他			吹奏楽で音楽専門の大学におけるクリニックを希望する団体に対し、埼玉県教育委員会、川越市教育委員会、埼玉県吹奏楽連盟、川越市吹奏楽連盟の後援を得て、楽器ごとにクラスをつくり、グループレッスン形式で基礎奏法及びアンサンブルなどの実技指導を行っている。
287	東邦音楽大学	川越市吹奏楽連盟 管打楽器実技講習会 ～プラスクリニック～	平成13年度	その他			吹奏楽で音楽専門の大学におけるクリニックを希望する団体に対し、川越市吹奏楽連盟の要請を受け、川越市内、中学校・高等学校の吹奏楽部より希望する団体を集め、楽器ごとにクラスをつくり、グループレッスン形式で基礎奏法及びアンサンブルなどの実技指導を行っている。
288	東邦音楽大学	中学校・高校生のための日本管弦打楽器ソロコンテスト	平成16年度	その他			文部科学省（2019年度～文化庁）、埼玉県、埼玉県教育委員会他諸団体の後援・協賛を頂き、全国の中学生高校生を対象とし、木管楽器部門・金管楽器部門・打楽器部門・弦楽器部門のソロ演奏審査を行っている。《予選》では、参加者全員に審査員の講評が渡され、《本選》では金賞、銀賞、銅賞の3つのランクに表彰及び審査員の講評が渡される。また、金賞受賞者のうち、特に優秀であると認められた参加者には特別賞が授与され、受賞記念演奏会に出演することができる。
289	東邦音楽大学	音楽鑑賞教室	平成8年度	幼保・小・中・高等学校等			小学校、中学校、高等学校の児童・生徒を対象として「オーケストラ」「ウインドオーケストラ」演奏などの鑑賞教室を行っている。
290	東邦音楽大学	都立大塚病院院内ミニコンサート	平成4年度	その他			病院内にて、入院患者はもとより一般来院者の方々を対象にミニコンサートを行う。
291	東邦音楽大学	文京シビックコンサート	平成7年度	自治体 (行政)			文京区役所シビックセンターにて、一般の方々を対象にコンサートを行っている。
292	東邦音楽大学	出張演奏	平成5年度	その他			川越市東部地域ふれあいセンター他、文京区、川越市内などの児童館、図書館、保育園、福祉施設、病院、各種イベントなどへの出張コンサートを行う。
293	東邦音楽大学	ニューイヤーコンサートin南古谷	平成17年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			南古谷地域の文化団体の演奏発表会。東邦音楽大学附属東邦第二高等学校及び南古谷ウインドオーケストラも出演している。
294	東邦音楽大学	インターンシップ	平成17年度	自治体 (行政)	産業界 (企業等)	その他	大学2、3年次生及び短期大学1、2年次生を対象として、行政 (自治体) 又は企業において概ね10日間の就業体験を行っている。
295	東邦音楽大学	小学校、中学校の授業サポート	平成16年度	幼保・小・中・高等学校等			川越市内小学校、ふじみ野市内小学校、中学校において、学生が授業サポートにあたっている。平成28年度より、一定の基準をクリアした場合には単位認定を行っている。
296	東洋大学	川越市との連携	平成24年度	自治体 (行政)			「川越市と東洋大学との連携会議」を年に1回開催している。教育研究等における協力関係について包括協定を締結し、現在も多方面で連携関係を構築している。
297	東洋大学	川越大学間連携講座	平成12年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体 (行政)		川越市共催事業という市民講座。
298	東洋大学	川越市トップアスリートふれあい事業	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体 (行政)		市立小学校に陸上部員を派遣。長距離走を通じて、児童に運動する楽しさや喜びを体験させるとともに、体力向上を図る。
299	東洋大学	川越市小・中・大学連携ふれあい事業	平成18年度	自治体 (行政)	幼保・小・中・高等学校等		市立小学校、中学校に本学教員を派遣して理科授業を実施。理科離れが危惧される小中学生に、理科の楽しさを伝えることを目的とする。
300	東洋大学	産業界セミナー	平成9年度	産業界 (企業等)			本学教員を企業に出張してセミナーを行なう。講義内容は一般論、基礎論、応用、先端技術など。地域企業の技術力向上を目的とする。
301	東洋大学	川越・鶴ヶ島地域活性化プロジェクト	平成24年度	自治体 (行政)	地域団体 (NPO、ボランティア等)		総合情報学科の必修科目「総合情報プラクティスV・VI」の一環として、大学近隣地域の活性化を地域とともに計画・立案・実施する演習を実施。調査・イベント実施・発表会・報告書作成などで実施成果を還元している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
302	東洋大学	ソーシャルデザインプロジェクト	平成23年度	自治体（行政）			建築学科教員が公共インフラの提案を実施。インフラの老朽化、市街地の衰退、人口減少などに対応し、いかに維持管理費を抑えながら住民ニーズを満たしていくかを提案している。現在、「鶴ヶ島」「大宮東口」「川越」の3か所で本プロジェクトを展開している。
303	東洋大学	学術講演会(オープン講座)	平成15年度	自治体（行政）			本学の教員が、研究成果や学問的知見などをもとに、地域の環境保全、交通安全、防犯、福祉、学術的・芸術的な要素のものなどからテーマを取り上げ、市民の生涯学習の一環として開講している公開講座。年2回開講（春・秋）。※受講者は、川越市民以外でも可。
304	東洋大学	サマースクール	平成11年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		川越市および近隣の小中学生を対象に、ロケット作りや木登り、昆虫採取、魚釣り、折りたたみ椅子作りなど、さまざまな実験や工作、体験を通して、工学やものづくりへの関心を育んでもらうことを目的とする。毎年夏開催。
305	東洋大学	市民大学講座（オープン講座）	平成10年度	自治体（行政）			本学の教員が、研究成果や学問的知見などをもとに、市民に身近なテーマを取り上げ市民の生涯学習の一環として開講する公開講座。全4～5回。全回受講した人には修了証を授与する。※受講者は、川越市民以外でも可。
306	東洋大学	教育提携プログラム	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			武蔵越生高等学校（平成19年より実施）の生徒に対し、「高等学校生徒に大学教育を開放し、大学教育及び本学に対する理解並びに高等学校教育の一層の向上を計る」ことを目的に、年2回（1回2コマ）毎回テーマを変えて実施している。全回受講した生徒には、修了証を授与する。
307	東洋大学	現代GP「持続型共生教育プログラム	平成15年度	自治体（行政）			地方都市の中心市街地空洞化が、全国的に問題となっている中、川越市の歴史的町並みを活かした魅力的な街づくりを進める拠点として、新たな交流の場「まちなか交流館」を建築学科の学生・教員が提案し、市民への発表の場として「まちなかど講評会」を毎年開催している。
308	東洋大学	川越市立鯨井中学校 学習サポート	平成18年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を川越市立鯨井中学校に派遣。テスト範囲の学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
309	東洋大学	埼玉県立高等学校 学習サポーター	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を埼玉県内の公立高等学校に派遣。理科・数学の補講指導、進学相談、始業前の生活指導など、多くの面で教員を補助することで教育現場を体験する。
310	東洋大学	鶴ヶ島市・東洋大学連携スポーツ講習会	平成21年度	自治体（行政）			理工学部生体医工学科の教員が、研究活動成果を地域住民の健康管理を目的とし、鶴ヶ島市教育委員会と共同で市民講習会を開催している。
311	東洋大学	産学連携セミナーの共催	平成18年度	産業界（企業等）			県内金融との共催で「産学連携セミナー」を開催。ニーズに合わせた講演会と、大学と企業の交流会（技術懇話会）を行う。2019年度は、さいしんコラボ産学官（埼玉縣信用金庫）と8月に、飯能信用金庫と2月に開催。
312	東洋大学	高等技術専門校の実習実施への協力	平成28年度	自治体（行政）			埼玉県産業労働部産業人材育成課からの依頼に基づき、埼玉県立の高等技術専門校の学生に対して、研究者が環境実習（講義・施設見学等）を実施（2019年度は、8月27日に本学川越キャンパスで実施）
313	東洋大学	デジタル・エンジニアリング・アカデミー	平成30年度	産業界（企業等）			工業技術研究所と武蔵野銀行の共催による新技術の自社導入を目指す企業を対象とした連続講座。2018年度は「自動化」を、2019年度は「IoT」と「CAE」をテーマとし、関係機関の講師による講演・事例紹介や技術導入実績のある企業の見学、参加者によるワークショップを実施。
314	東洋大学	「大学シーズ発掘ツアー」開催	令和元年度	自治体（行政）			公益財団法人埼玉県産業振興公社との共催により、県内企業を対象としたキャンパス見学会を実施（2019年11月26日）。大学の研究施設や機器・装置の見学、研究者等との交流を通して、今後の産学連携のきっかけ（出会いの場）とする事を目的とする。
315	東洋大学	子ども大学あさか	平成23年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		大学のキャンパスで、大学教員をはじめとするさまざまな分野の専門家が「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」という3つの分野の講義や実習体験を提供する小学4年生から6年生を対象とした「子どものための大学」。企画運営：子ども大学あさか実行委員会（朝霞市教育委員会・（社）朝霞青年会議所・東洋大学・NPOアンサーズ・ネット）
316	東洋大学	親子でエンジョイスports（朝霞市）	平成23年度	自治体（行政）			大学のキャンパスや朝霞市内の運動施設で朝霞市内の幼児とその親を集め軽運動やレクリエーション活動を実施。
317	東洋大学	朝霞市における小学生の居場所づくり「きゃんぱす」事業	平成28年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			少子高齢化や核家族化の進行といった社会状況の中、学習や友人関係のつまずきなどから不登校になる子どもの増加が懸念されている。これらは地域における孤立化、不就労、貧困化に結びつきやすく、早い段階から子どもの育ちを支える仕組みが必要である。この活動では、「朝霞多文化子育ての会ばんびーに」等、朝霞市内の子育てサークルとも協力し、小学生の居場所づくり事業として、福祉や教育に係る資格取得を目指す学生が、子どもひとりひとりにあわせた学習支援、相談支援、遊び支援を提供する。
318	東洋大学	福学連携 授産商品開発プロジェクト	平成29年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			福祉事業所の授産商品（木工製品）の新規デザイン開発を学生が提案するプロジェクト
319	東洋大学	健康スポーツ倶楽部ASAKA	平成24年度	自治体（行政）			朝霞市内小学生を対象としたスポーツ教室を運営。指導は健康スポーツ学科の学生が行う。
320	東洋大学	志木市放課後子ども教室りんくすとの連携事業	平成22年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			志木在住の3歳～4年生を対象とした運動教室。運動は少しニガテ…をスポーツって楽しい!!に変えることを目標に、走る、跳ぶ、投げる、リズム系、体操系の運動教室を実施する。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
321	東洋大学	市民のいきいき健康づくり-スポーツと健康	平成30年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)		主催：NPO法人朝霞ぐらんぱの会 事業概要：朝霞市在住の市民を対象に、ライフデザイン学部健康スポーツ学科の教員が講師となり、「アクティブエイジングを目指して」と題した講演会を開催。ぐらんぱの会は地域で子どもや高齢者に対するボランティア活動を行っている団体であり、会員の能力向上を支援する機会となっている。
322	東洋大学	NPOと協同したシニアのための健康体操教室	平成30年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)			NPOあさか市民大学と連携し、シニアのための健康体操教室を開催。ストレッチ体操、レジスタンス体操、音楽に合わせて行う簡単なリズム体操、歌いながら左右の手を非対称に動かす運動プログラムを考案した。
323	東洋大学	世代間交流形式の健康教室による地域在宅高齢女性のセルフケア技術修得支援	平成30年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)			医療生協さいたまの協力も得て、地域在宅高齢女性のグループと連携し、健康体操教室を開催。ストレッチ体操、レジスタンス体操、音楽に合わせて行う簡単なリズム体操、歌いながら左右の手を非対称に動かす運動プログラムを考案
324	東洋大学	東洋大学オレンジカフェ	平成28年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)			認知症高齢者と家族介護者、また、認知症の有無にかかわらず、地域住民が誰でも参加でき、学生も交えて相互に交流できる場として開催している。偶数月第3日曜日13:30-15:30に実施している。 体操、様々なゲームやレクリエーション等を学生が主体となり実施している。
325	東洋大学	オリンピック・パラリンピック推進連携事業	平成30年度	自治体(行政)			大学での障がい・多様性理解に関するシンポジウムの開催、学園祭でのイベント協力
326	日本医療科学大学	ハイキングのまちおごせ健康長寿プロジェクト	平成29年度	自治体(行政)			平成29年度に地域連携協定を締結した越生町の住民に対し、健康寿命延伸を目的とした様々な取り組みを指導させていただくことを目的として実施している。本活動は年3回の講座を担当し、講座名を「自宅でできる簡単エクササイズ」と称し、第1回目を「腰痛対策編」、第2回を「膝痛対策編」、第3回目を「肩・上半身編」として実技指導を行った。
327	日本医療科学大学	九都県市合同防災訓練・埼玉県会場	平成25年度	自治体(行政)			令和元年度埼玉県・和光市総合防災訓練で学生が傷病者役として参加した。
328	日本医療科学大学	健康寿命延伸講座	令和元年度	産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)	その他	南古谷病院、日本医療科学大学、女子栄養大学、株式会社ネブシスが連携し、「人生百歳時代」をテーマに、健康寿命延伸に深くかかわっているとされている「運動と栄養」を中心とした内容で講座・運動指導などを行うものである。本学は今年度3回担当し、ロコモティブシンドローム、認知症予防、腰痛予防の内容で実施した。
329	日本医療科学大学	公開講座	平成19年度	自治体(行政)			大学の教育と研究成果を広く社会に還元し、地域の方々の生涯学習のお役に立てるよう本学では年2回テーマを設け、公開講座を開講している。医療や健康に関することから国際情勢まで時代に即した幅広いテーマで講演を行っている。
330	日本薬科大学	薬物乱用防止講演教室	平成22年	高等学校			埼玉県(保健医療部薬務課、教育委員会)、埼玉県薬剤師会との連携を図り、健康や薬について、関東1都6県の高等学校が取り組んでいる生徒向けの「薬物乱用防止の研修会」に講師を派遣。99校から申し込みを受け、台風被害で3校、新型コロナウイルスの感染拡大防止の臨時休校で12校のキャンセルがあり、84校に講師を派遣した。
331	日本薬科大学	理科教員のための実践教養講座	平成23年	高等学校			高大連携事業の一つとして、高等学校の理科教育の質的充実を目的とする。平成23年から埼玉県(教育委員会)の後援を得て高等学校の理科教員を対象として毎年1月頃に研究実習棟の実習室を使用して開催するもの。1月18日(土)に開催し、理科教員17名が講義、実習に参加した。
332	日本薬科大学	高校生一日薬剤師体験教室	平成23年	高等学校			平成23年から埼玉県(保健医療部薬務課)と共催し、県内在住及び県内高校に通学する高校生を対象として研究実習棟4階の実習室、模擬薬局を使用して開催している。8月22日(木)に開催し、高校生36名が講義と実習に参加した。
333	日本薬科大学	子ども大学 あげお・いな・おけがわ	平成23年	自治体(行政)			①7月13日(土)：講座・実習「植物の持っている色の不思議」 ②9月7日(土)：講座・実習「『酸性雨』って何だろう？」
334	日本薬科大学	学校開放講座	平成26年	自治体(行政)			①10月26日(火)：講座「健康食品の正しい選び方」 ②11月10日(日)：講座「認知症って予防できるの？」 ③12月21日(土)：講座「健康食品や統合医療の情報の見極め方」
335	日本薬科大学	いきがい大学	平成26年	自治体(行政)			①6月26日(水)：講座「クスリとのつきあい方」 ②8月29日(木)：講座「統合医療の上手な使い方」 ③9月10日(火)：講座「統合医療とのかかわり方」 ④9月11日(水)：講座「血栓症の予防と病気の関係」
336	日本薬科大学	公民館講座	平成28年	自治体(行政)			①9月4日(水)：講座「夏の疲れを癒せる漢方実習」 ②11月26日(火)：講座「賢い薬局の活用法」 ③12月2日(月)：講座「薬のいらぬ健康な生き方」 ④12月9日(月)：講座・実習「自家製お屠蘇で新年を迎えましょう」
337	日本薬科大学	健康講座	平成28年	自治体(行政)			①10月10日(木)：講座「身近にある健康の秘訣」 ②10月31日(木)：講座「私と家族の健康」
338	日本薬科大学	市民大学	平成28年	自治体(行政)			①11月21日(告)：講座「健康食品や統合医療の情報の見極め方」 ②12月5日(木)：講座・実習「自家製お屠蘇で新年を迎えましょう」 ③11月8日(金)：講座「健康と薬」
339	日本薬科大学	大学授業開放講座	平成28年	自治体(行政)			平成28年11月に埼玉県知事と本学学長とが協定書を交わし、埼玉県福祉部長と本学学部長とが覚書を交わしたに基づき実施している。前期は、6講座を開放し、延べ30名が受講し、後期は、6講座を開放し、延べ25名が受講した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
340	日本薬科大学	連携高校の生徒に対する実習	令和元年	高等学校			①8月21日（水）：実習「薬理学実習」 ②12月21日（土）：実習「そばアレルギーの解析」① ③1月7日（火）：実習「そばアレルギーの解析」②
341	人間総合科学大学	生涯学習公開講座	令和元年度	自治体（行政）			生涯を通して様々な学習を継続している地域の市民や社会人を対象とした公開講座 第42回『こころ』と『からだ』のつながり～心身一如の過去・現在・未来～ 第43回冬に備える心身健康の知識と実践～誤嚥と転倒を考える～
342	人間総合科学大学	さいたま市主催 第8回学生政策提案フォーラム in さいたま	令和元年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			「第9回学生政策提案フォーラム in さいたま」において、「食品ロスフェス in さいたま」「瞬間保冷剤を活用した熱中症対策」をテーマの発表を行った。
343	人間総合科学大学	子ども大学SAITAMA	令和元年度	自治体（行政）			さいたま市が行っている子ども大学の講義の1つを岩槻キャンパスで開催した。さいたま市の4～6年生が対象で、10月19日に「赤ちゃん誕生までの道のり」をテーマに、3名の教員が講師となり授業を行った。
344	人間総合科学大学	子ども大学はすだ・しらおか	令和元年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			地域の小学校4～6年生の子どもたちを対象に、大学のキャンパス等で学ぶ【子どものための大学】を開催している。 第1回 種まきで世代間交流 第2回 心臓の不思議に迫る 第3回 自然にふれて自分色を見つけよう 第4回 学園祭で学生気分～お店作りに挑戦しよう～ 第5回 農業体験～埼玉県特産クワイ堀り
345	人間総合科学大学	総合文化芸術祭	令和元年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	ボランティア等	第8回人形のまち岩槻の「総合文化芸術祭」が令和2年2月22日～24日まで行われるが、岩槻キャンパスが会場となり各種イベントが行われる。
346	人間総合科学大学	さいたま市タウンミーティング	令和元年度	自治体（行政）			「住みたいまち、さいたま市の魅力」をテーマに、市長と直接意見交換を行った。8名の学生が参加。
347	人間総合科学大学	さいたま市食品ロスプロジェクト	令和元年度	自治体（行政）			さいたま市食品ロス削減施策に関するアンケートに回答し、削減啓発動画をホームページに掲載する協力を行っている。 また、「エコ・クッキング」には8名の学生が参加した。
348	人間総合科学大学	第8回総合文化芸術祭	令和元年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	ボランティア等	2月22日～24日、岩槻キャンパスを会場として、ひな人形の段飾りや様々なイベントを開催する。
349	人間総合科学大学	蓮田市商工会いきいき街づくり委員会	令和元年度	産業界（企業等）			梨を使った特産品の開発を行っている。
350	人間総合科学大学	蓮田市蓮田ブランド推進協議会	令和元年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		蓮田の郷土料理である呉汁を現代風にアレンジした「蓮田スープレシピコンテスト2020」を3月8日に開催予定
351	人間総合科学大学	第3回岩槻西口祭	令和元年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	ボランティア等	地域交流を目的として、体力測定や子供向けに輪投げや動物探し等で出店した。
352	人間総合科学大学	ナト・カリ調味料を使用したランチメニューの開発・販売	令和元年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		本学では3年前から、さいたま商工会および、さいたま商工会会員の事業所とナト・カリ調味料を使用した商品の共同開発を行っている。今年度は2/5（水）～2/20（木）いけす料理寿々屋にて、「多良福（たらふく）御前～旬の鰯でお腹いっぱい幸せ適塩ランチ」を販売
353	人間総合科学大学	大学コンソーシアムさいたま	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。
354	文教大学	越谷市シルバーカレッジ	平成21年度	自治体（行政）			越谷市在住の60歳以上の方を対象に、生涯学習の一環として学習の機会を提供する。 10月9日（水） ライフサイクルの心理学 10月16日（水）生きがいと日本人 ※上記2回 講師：人間科学部教授 神田信彦 10月23日（水）ヨーロッパの文化的特色（1） 宗教を中心に 10月30日（水）ヨーロッパの文化的特色（2） 言語を中心に ※上記2回 講師：教育学部教授 三木一彦
355	文教大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学・短大（大学・短大間連携）	H25年度までは「子ども大学こしがや」H26年度より「子ども大学こしがや・まつぶし」 越谷市及び松伏町在住の小学生に発展的な学習の機会を提供するため、本学および他の団体が連携し、「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」をテーマにリレー講座を実施している。 9月28日（土）ブラックホールのひみつ 教育学部教授 長島雅裕 11月30日（土）東京2020大会がやってくる！！－オリンピック・パラリンピックと私たち－ 人間科学部准教授 二宮雅也
356	文教大学	親子科学教室	平成15年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			NPOとの共催で、夏休みに公開講座として開催している。実験を伴い、自由研究への導入としても役立つ内容を提供する。また、親子で参加していただくことで、大人にも発見のある講座となっている。 7月20日（土）火山と地震－地球の科学入門 NPO埼玉たのしい科学ネットワーク講師
357	文京学院大学	高大連携講座「高校生のまなびとあそびのキャンパス」	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			ふじみ野高校普通科1年生を対象とした体験授業。12月19日に実施。学生による課外活動の説明の後、各学部・学科の教員が担当する体験学習を重視した7つの講座のうち、希望する1つを受講した。教員指導の下、進行を大学生・大学院生が務める講座もある。
358	文京学院大学	商店街活性化プロジェクト	平成30年度	地域団体（商店会）	自治体（行政）		ふじみ野キャンパス周辺のシャッター商店街を大学生と地域の連携活動により活性化を実施。現在は空き店舗を借り大学生が地元の子どものための交流を図る駄菓子屋を運営している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
359	文京学院大学	都市－農村交流による福島再生プロジェクト	平成18年度	地域団体（協議会、農家団体）	自治体（行政）	大学（大学間連携）	東北大震災後の福島の農村・農業を活性化させるグリーンツーリズムを実施。都市と農村の住民が相互交流することで福島の農業を支援していく活動。
360	文京学院大学	ボランティア支援活動	平成17年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）		ふじみ野キャンパス地域連携センターBICSでは、学生が中心となり、近隣地域の小学生、自治体、町内会、NPO法人、高齢者施設、障がい者施設と連携し、音楽演奏、スポーツ、レクリエーションなどのボランティア支援を定期的に行っている。一事例として、外国籍の親を持つ子どもたちへのスポーツ、レクリエーション支援を月1、2回ほど行っている。
361	文京学院大学	市民大学ふじみ野	平成14年度	自治体（行政）			平成14年の「町民カレッジ」を初期として、以来ふじみ野市との連携で、「市民大学ふじみ野」と名称を変え、ふじみ野市を中心に市民に対する公開講座を公開して来た。令和元年度は、9月11日（水）「子どもと一緒に楽しむ易しい英会話」、12日（木）「子ども時代の精神障害と子育て」を開講。
362	文京学院大学	公開講座 ウィークエンドフォーラム	平成4年度	自治体（行政）			ふじみ野市及び周辺地域に対する知識の提供を目的として、公開講座を開講。令和元年度は、6月29日に“「定年後の移住」と「田舎暮らし」の現状と課題”を開講。
363	文京学院大学	アートフェスタふじみ野	平成29年度	自治体（行政）			包括協定締結先のふじみ野市のイベントに、学生、教職員が出演及び運営に参加している。令和元年12月8日開催。
364	文京学院大学	淑徳大学・文京学院大学共催 公開講座	平成14年度	自治体（行政）			富士見市、ふじみ野市、三芳町その他の地元社会において公開講座を開催することにより、市民にとって価値の高い修学の機会を提供する事を目的とする。令和元年度は、10月5日に文京学院大学で「大人の造形講座 わたしの色でつくる宝箱」を開講、10月12日の淑徳大学の講座は、台風の影響で中止となる。
365	文京学院大学	彩の国大学コンソーシアム	平成14年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		埼玉県内にある18の大学が連携して協力体制を築き、教育研究の高度化・進展を図るとともに、生涯学習や地域貢献を目的として、公開講座を開講する。令和元年度は、9月9日に「在宅介護のすすめ「地域包括支援センターを知ろう！」」を開講。
366	文京学院大学	子ども大学ふじみ野	平成25年度	自治体（行政）			子ども大学ふじみ野は「まなびでつながりひろがる人と地域を育むまち ふじみ野」を基本理念とする「ふじみ野市生きがい学習推進計画」に従い、普段学校では学ぶ事の出来ない専門的カリキュラムによって、子供の知的好奇心を刺激する講義や体験活動を行っている。 具体的には、総合テーマを「共に生きる社会の理解」とし、多様化している現代社会において、課題に対応する「生きる力」を地域で育むとともに、誰もが笑顔で生活できるまちづくりのきっかけとなる学びを提供している。 対象者は市内に在住する小学校4～6年生とし、文京学院大学ふじみ野キャンパスを中心に、原則市内で実施している。
367	文京学院大学	ふじみ野市と学校法人文京学園との連携協力に関する包括協定書	平成28年度	ふじみ野市			社会福祉の充実に関する事項や、教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事項、環境の保全・回復・創出に関する事項、産業振興、地域コミュニティの発展、人材育成に関する事項。
368	文京学院大学	文京学院大学人間学部とふじみ野高等学校との教育連携に関する協定書	平成29年度	埼玉県立ふじみ野高等学校			双方が実施する教育連携事業等への生徒、学生の参加。双方の教員による出前授業及び施設・設備の利用や教員の資質向上のための研修。教育についての情報交換及び交流。
369	文京学院大学	文京学院大学と中京学院大学との相互交流に関する協定・覚書	平成29年度	中京学院大学			学生交流として、両大学の学内行事、課外活動、地域社会との連携活動、サークル活動等を通して学生の教育や諸活動を支援し、学生間交流の活性化を目指す。教員交流として、両大学での要請に応じて共同研究の実施、学士教育の改善に資する意見交換や研修等を通して幅広い交流を図る。 事務職員交流として、事務職員の資質向上、学生支援の改善に資するため、相互訪問や相手大学の研修会への参加、行事への参加等を通じて幅広い交流を図る。
370	文京学院大学	学生企業見学会	令和元年度	自治体（行政）			学生がふじみ野市役所を訪問。市役所の仕事などについて説明をいただき、公務員の仕事への理解を深める
371	文京学院大学	学生企業見学会	令和元年度	産業界（地元企業）			学生が地元企業を訪問。地域経済への貢献、仕事の内容などへの理解を深める。 ※地元企業の訪問を予定していたが、希望者が少なく実施には至らず。
372	文京学院大学	インターンシップ	令和元年度	自治体（行政）			大学の所在地であるふじみ野市にてインターンシップを実施していただく。市立図書館など
373	明海大学	子ども大学にしているま	平成24年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	大学、市、町、県が連携し、大学教授等プロフェッショナルが小学校で教えないような課題を大学で教えるという、子ども（4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。 以下の2分野の講義を基本としている。 1.ものごとの原理やしぐみ追求する「はてな学」 2.自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」
374	明海大学	病診連携と登録医制度	平成15年度	その他			埼玉県歯科医師会の各都市歯科医師会と連携し、登録医の患者紹介による診療、診断の補助、共同診療など効率的な医療の推進。 明海大学歯学部メディアセンター利用や研修会、セミナーへの参加。
375	明海大学	図書館の施設開放	平成9年度	その他	その他		病院病診連携にかかわる登録医への図書館開放
376	明海大学	坂戸市と女子栄養大学、城西大学及び明海大学の坂戸市民の健康づくりに関する連携協力協定に基づく事業	平成18年度	地域団体	自治体	大学等	坂戸市は、市民の多くが首都圏で働く、典型的なベッドタウンである。そのため、団塊の世代の退職者が増加するに従い、急速に高齢化が進む可能性が高く、「生活習慣病予防」の対策を積極的に行うことが大変重要な時期にある。現在、明海大学歯学部は、「食を通じた健康づくり応援店」の認定審査に参加している。



埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
377	武蔵野音楽大学	入間市 市民コンサート	昭和55年度	自治体（行政）			文化事業の一環として、入間市民にクラシック音楽鑑賞の機会を提供することを目的（協定内容）として昭和55年度（1980）に開始した。長年にわたり親しまれ続け、今年度（令和元年度）で40回目を迎えた（残念ながら今年度の実施日10月12日は台風19号の影響を考慮し中止となった）。現在では入間市教育委員会入間市立中央公民館が主催し、「市民コンサート」として市民に広く定着している。例年10月下旬から11月中旬の間に、両者で検討のうえ日時・会場を設定してきたが、近年は10月中旬から下旬に実施している。
378	武蔵野音楽大学	埼玉県 西部地区音楽祭	昭和55年度	幼保・小・中・高等学校等			例年、11月の4日前後を開催日として、本学のコンサートホール「バッハザール」を開放し、地域の高等学校音楽祭が開催されている。令和元年度も11月に4回開催された。
379	武蔵野音楽大学	入間市・武蔵野音楽大学連携コンサート	平成24年度	自治体（行政）			平成29年度より大学、大学院が全て江古田キャンパスで学修することになり、入間キャンパスでの演奏会を実施しなかったため、残念ながら令和元年度も連携コンサートは行われなかった。
380	武蔵野音楽大学	クリスマスコンサート	平成10年度	産業界（企業等）			読売新聞所沢センターとの連携事業で、毎回本学より優秀な演奏者を派遣し、読売新聞購読者に対しクラシック音楽に親しむ機会を提供している。例年は7月下旬に「真夏の夜のコンサート」と合わせて年2回実施していたが、平成28年度からは主催者の都合により12月の「クリスマスコンサート」のみの実施となった。平成30年度は会場の所沢ミュージズの改修工事に伴い中断、令和元年度は実施されなかった。
381	武蔵野音楽大学	入間市立西武中学校合唱祭	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			例年10月～11月に市内近隣の中学校が開催する合唱祭に本学のコンサートホール「バッハザール」を提供している。主催者からの要望があった場合は、本学より演奏者をゲスト出演させている。
382	武蔵野音楽大学	入間市立野田中学校合唱祭	平成21年度	幼保・小・中・高等学校等			例年10月～11月に市内近隣の中学校が開催する合唱祭に本学のコンサートホール「バッハザール」を提供している。主催者からの要望があった場合は、本学より演奏者をゲスト出演させているが、令和元年度はオルガンの演奏依頼があり、大学院を修了した優秀な卒業生の演奏を提供した。
383	武蔵野音楽大学	入間市立藤沢中学校合唱祭		幼保・小・中・高等学校等			例年10月～11月に市内近隣の中学校が開催する合唱祭に本学のコンサートホール「バッハザール」を提供している。主催者からの要望があった場合は、本学より演奏者をゲスト出演させているが、令和元年度はオルガンの演奏依頼があり、大学院を修了した優秀な卒業生の演奏を提供した。
384	武蔵野音楽大学	日高市教育委員会「新春ファミリーコンサート」	平成19年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		日高市教育委員会（生涯学習課）と日高市文化協会が共催の日高市民を対象とした「新春ファミリーコンサート」。毎年日高市文化体育館ひだかアリーナ（サブアリーナ）で開催されている。主催者の要望に可能な限り応えるよう、学内より優秀な学生を選抜して実施している。令和元年度は昨年に引き続き日高市教育委員会（生涯学習課）のみの主催で実施され、ヴィブラフォン独奏、ピアノ独奏、フルート独奏、ソプラノ独唱の演奏を行った。
385	武蔵野音楽大学	子ども音楽大学いるま	平成25年度	自治体（行政）			「子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会や文化芸術に触れる機会を提供する」目的で、「子ども音楽大学いるま」と銘打って、入間市教育委員会生涯学習課との連携により、地域の小学生（4年生～6年生）30名を対象に9月～10月の3日間実施した。令和元年度の講義内容は「楽器のお話」「楽器で世界を旅しよう」「楽しいアンサンブル造りに挑戦してみよう！」「作曲家の仕事を知ろう」「パイプオルガンの世界によろこそ」「作曲家の仕事体験しよう！」と、音楽大学ならではの内容となっており、参加した児童にとって貴重な知識や体験の機会を提供している。
386	武蔵野音楽大学	クリスマスコンサート	平成28年度	産業界（企業等）			平成28年度に初めて企画されたコンサート。主催は入間市立図書館西武分館指定管理者の㈱ヴィアックス。同図書館内の視聴覚室を利用し、近隣在住の市民が気軽に音楽に触れる機会を作ることが目的。令和元年度はソプラノ、オーボエ、クラリネット、キーボードによる室内楽の演奏を提供し大変好評を頂いた。
387	武蔵野音楽大学	入間市文化創造アトリエ・アミーゴ アフタヌーンコンサート	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			入間市の公共施設「入間市文化創造アトリエ・アミーゴ」は、市民のNPOによる運営で、演劇、音楽、古典芸能、アートなどの文化芸術分野で様々な事業を展開している。同じ入間市内にキャンパスを持つ音楽大学として、市民にクラシック音楽に親しむ機会を提供すると共に、地元出身の若い演奏家を応援するコンサートとして、本学ヴィルトゥオーゾコースの学生を中心とした演奏会を毎年開催し、市民から好評を得ている。
388	武蔵野学院大学	公開講座	平成20年度	自治体（行政）			埼玉県教育委員会・狭山市教育委員会後援の公開講座を実施。実施日・講座内容は以下の通り。 令和元年10月19日（土） 「宇宙と人間」 最新の科学的宇宙観と人間、地球文明の関わりについて論じます。 令和元年10月20日（日） 「大航海時代と「はやぶさ2」の現在」 これからの宇宙観測は大航海時代になるのでは？「はやぶさ2」も観測が終了したトピックス的な現在の概要
389	武蔵野学院大学	コラボレーション講座	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携事業として、本学教員による、コラボレーション講座（授業）を全9回（18講座）（令和元年5月18日～令和元年7月11日の間）実施。主に本学近傍の高校生が受講しており、協定締結している高校では、この講座を受講することにより、単位認定している。協定締結している高校は、埼玉県立高校4校、私立高校1校である。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
390	武蔵野学院大学	子ども大学さやま	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	産業界（企業等）	子どもの学ぶ力や生きる力の向上及び自治体、企業等との連携により地域の教育力の向上を目的とした事業である。令和元年10月5日～令和元年12月21日の間の5日間（全5回）で講義を開催。対象は狭山市市内小学校4,5,6年生である。定員は50名講義内容は以下の通り。 10月5日 「児童文学・幼年童話・絵本のブックトークに挑戦！」 10月26日「学ぼう・お金の世界」 11月30日「情報メディアを使った『わかる勉強』を考えてみよう」 12月7日「ゴルフをやってみよう！～2020年東京オリンピック・パラリンピックにむけて～」 12月21日「がんばれニッポン！狭山市も会場に！！2020年東京オリンピック・パラリンピック～すべては大空翼と岬太郎のツインシュートから始まった～」 行田市民の小学生を対象に、ものづくりの楽しさや面白さを実感してもらう。また、ものづくり大学の「技術および知的資源」を活用した事業を実施することにより、行田市における教育環境等の充実に寄与することを目的とする。 教室は2019年7月～10月まで、全5回行った。
391	ものづくり大学	おもしろものづくり教室	平成20年度	自治体（行政）			2019年度： 7月14日（日）「鋳造体験！溶かしたスズでオリジナルの置物を作ろう」 7月21日（日）「テレイドスコープを作ろう！」 7月28日（日）「ちょっとおしゃれなオリジナル小物入れ（宝箱）を作ろう！」 8月24日（土）「木の写真立てを作ろう！」 10月26日（土）～27日（日）「楽しい竹細工教室」 本学の理念等を広く社会に周知させるとともに、地域の文化の向上、活性化に資することを目的とする。 行田市民を対象とする「市民特別公開講座」と、県民全体を対象とする「特別公開講座」について、講師を招いて講演を行う。
392	ものづくり大学	公開講座	平成13年度	自治体（行政）	その他		2019年度： 特別公開講座：12月20日（金）、大宮で実施。「やれる理由こそが着想を生む。一はやぶさ2の新たな挑戦そして小惑星リュウグウから地球へ」 （川口淳一郎氏） 市民特別公開講座：2月16日（日）、行田で実施。「地域を知り、歴史を知ることの楽しみーエジプト、アンコール、日本、明治村をとおしてー」（中川武氏）
393	ものづくり大学	子ども大学ぎょうだ	平成22年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		大学や市町村、企業・NPOが連携して、地域の子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するものである。小学校で教えないような課題を取り上げ、一部講義を本学教員が担当している。全日、本学職員が参加している。 2019年度： 6月2日（日）オープンキャンパス（謎解きゲーム） 7月6日（土）入学式、「ペットボトルロケットを作ろう！～ものづくり大学で宇宙への夢を学ぶ～」、学生食堂昼食会 7月24日（水）「いろんなリズムで音楽世界旅行」「MYリフレクター（自転車反射板）作成教室」 8月3日（土）「行田の野菜をトッピング～ドラム缶で焼くピザづくり～」 8月24日（土）学園祭準備～浮き城のまち行田こどもまつりに参加するための準備をしよう！～ 9月21日（土）「行田は水の始発駅～水の旅の行く先は～」 「建設物を強くする方法を学ぼう！～」、修了式 10月13日（日）学園祭
394	ものづくり大学	マンガカーレース大会	平成14年度	自治体（行政）	その他		日本機械学会関東支部埼玉ブロックとの共催、行田市教育委員会の後援により実施している。 電池を使用した簡易な車の模型を作成し、コースで走らせることで、小学生に“考えて作る”機会を与え、ものづくりの楽しさを実感してもらうと同時に、工夫して機械の性能向上を考察する体験を通じて科学技術への興味を促している。一方で、イベントの企画運営・小学生への指導などを大学生主導で行わせることにより、ものづくり活動の疑似体験、および社会に貢献する満足感を与え、さらにはコミュニケーション能力の向上を図っている。 2019年度： 10月19日（土）～20日（日）事前工作教室 10月26日（土）～27日（日）学園祭当日に工作教室およびレース大会
395	ものづくり大学	みんなで作る公園整備事業	平成16年度	自治体（行政）			本学で制作した東屋等を無償で行田市に提供している。 2019年度： 東屋1基を提供 行田市馬見塚公園へ設置
396	ものづくり大学	行田市民大学	平成21年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		行田市民大学への学内施設の貸出(年間17日)および講師派遣 2019年度： 6月20日（木）：まちづくり2～地域を知ってアイデアを出そう～ 6月27日（木）：クルマと社会の過去と未来を覗く 11月11日（月）：郷土の歴史「忍領に残る歴史遺産」 11月28日（木）：見て感じて理解する日本の建築－美術館、博物館をめぐる～ 行田市の小学校で本学教員・学生による「木工教室」を開催している。
397	ものづくり大学	小学生を対象とした木工教室	平成20年度	幼保・小・中・高等学校等			鉋（かんな）・鋸（のこぎり）・玄翁（げんのう）といった大工道具の使い方を学び、それぞれのグループに分かれて実際道具を手にし、実際に木材を削ったり、切ったり、釘を打ったりする作業を体験した。 2019年度： 6月2日（日）南小学校

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
398	ものづくり大学	夏休み体験教室	平成28年度	その他			ユニクス鴻巣管理事務所の要望により、小学生を対象とした木工教室を開催した。建築研究会の学生が木の写真立ての製作を指導した。 2019年度： 8月10日（土）ユニクス鴻巣
399	ものづくり大学	子ども大学こうのす	平成25年度	自治体（行政）			大学や市町村、企業・NPOが連携して、地域の子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するものである。小学校で教えないような課題を取り上げ、一部講義を本学教員が担当している。 2019年度： 11月10日（日）「災害時に便利なシェルターを作ってみよう」
400	ものづくり大学	彩の国いきがい大学蕨学園	平成29年度	自治体（行政）			公益社団法人いきいき埼玉 彩の国いきがい大学熊谷学園の依頼により、学内施設の貸出しおよび以下の講義等の協力を行った。 2019年11月14日（木）「世界遺産に認定された建築家ル・コルビュジエと国宝“待庵(たいあん)”について（ものづくり大学のレプリカ制作）」
401	ものづくり大学	鴻巣おもちゃの病院との連携	平成23年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			鴻巣市社会福祉協議会主催の「鴻巣おもちゃの病院」が、本学の学園祭においても開院している。
402	ものづくり大学	埼玉県立防災学習センターでの出展協力	平成28年度	自治体（行政）			卒業制作である耐震模型、液状化模型等を寄贈しており、引き続き学習教材として展示・利用されている
403	ものづくり大学	授業製作物の寄贈	平成13年度	自治体（行政）			授業製作物である東屋などを、主に公共施設に寄贈している。
404	ものづくり大学	埼玉国際学園との連携	平成26年度	その他			熊谷にある日本語学校である埼玉国際学園との連携協定に基づき、見学の受入れや、留学生の紹介などを行っている。
405	ものづくり大学	図工・美術科指導法研修会	令和元年度	自治体（行政）			本学のノウハウを伝授する機会として、行田市内小中学校教員向けの木工研修会を開催した。のこぎり、げんのう、かな、きり等の使い方、指導の仕方、手入れや保管の方法等を研修した。 2019年度：7月22日（月）
406	ものづくり大学	埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学の連携協力	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		3者における教育研究と学術交流及び地域連携活動における協力の促進を図ることを目的とし協定を締結した。2019年度は以下を実施した。 2019年10月26日 三大学学園祭の連携 2019年10月 シニアいきいき大学（平成国際大学・加須市）への講師派遣 2019年2月10日 三大学合同研究発表会
407	ものづくり大学	リカレント教育	平成22年度	自治体（行政）			県と大学が協力して、県内在住の高齢者や団塊の世代の方々に対し、授業科目の一部を受講できるよう開放する。 2019年度：受講者前期1名・後期5名
408	ものづくり大学	中学生の職場体験	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			2019年10月2日～4日 鴻巣市立吹上北中学校2年生4名が「2019年度鴻巣市中学生社会体験チャレンジ事業」として本学の学生食堂で職場体験を実施した。
409	ものづくり大学	県内各種団体による大学見学	平成13年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	産業界（企業等）	下記の自治体・行政による視察や、学校等の社会科見学のための大学見学を受け入れた。 ●行田市立下忍小学校 日時：2019年6月10日 ●埼玉浮き城プロバスクラブ 日時：2019年6月21日 ●熊谷直実市民大学 日時：2019年6月20日 ●埼玉県経営者協会 日時：2019年11月12日 ●伊奈いきがい大学 日時：2019年11月15日
410	ものづくり大学	職場内での短時間保育	平成30年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			NPO法人子育てネット行田との連携協定に基づき、職員等の子育てサポートとして職場内での短時間保育の環境を整えている。
411	ものづくり大学	インターンシップ	平成14年度	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）	ものづくり大学のインターンシップは、ものづくり教育の基礎となるカリキュラムの中で、将来企業で活躍するための社会人を身に付けるキャリア教育として位置づけられている。実務現場での研修を通して学習の意欲を高め、仕事をする意味や現場での考え方、コミュニケーションの必要性など社会人としての素養を高めることを目的としている。2年次の第2クォータに必修科目として配当しており、実働40日間の長期インターンシップは本学の特色の一つとなっている。なお、期間は6月中旬から8月中旬となっている。 2019年度インターンシップにおいては、339人の学生が就業体験の機会をいただき、受入企業総数216社のうち県内企業121社においてインターンシップを行った。
412	ものづくり大学	県民の日 高校生「学び」夢プラン	平成26年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	その他	埼玉県高等学校進路指導研究会主催の事業。高校生が普段の大学の授業を学生と共に受講することにより、将来の学校や学部選択の参考にし、将来の職業や生き方を考える機会とすることを目的とする。対象は、埼玉県の高校で学ぶ生徒及び高校教員。 今年度も埼玉県民の日（2019年11月14日（水））に授業開放を実施し、高校生1名の参加があった。
413	ものづくり大学	(高大連携事業)大学見学	令和元年	幼保・小・中・高等学校等			高校生の大学見学の受入れを実施。 2019年： 鴻巣高校、浦和第一女子（定時）高校、狭山緑陽高校、飯能南高校、越谷東高校、上尾橘高校
414	ものづくり大学	(高大連携事業)高校生のインターンシップ受入れ	令和元年	幼保・小・中・高等学校等			教育連携協定を締結している県内高等学校から高校生のインターンシップ受入れを行った。 2019年度： 川口工業高校（5名）：2019年11月19日（火）～21日（木） 久喜工業高校（5名）：2020年1月21日（火）～24日（金）

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
415	ものづくり大学	(高大連携事業)ものづくり大学出張授業	令和元年	幼保・小・中・高等学校等			高校と大学を結ぶ高大連携を目的として、本学の教員が高等学校を伺い、高校生を対象とした出張授業を実施している。 ものづくり大学の授業の一端に触れることで、大学で勉強する内容を知るとともに、ものづくりの楽しさや素晴らしさを感じてもらおうとともに、ものづくりの「技」と「知恵」、そして「心」をあわせもつ有為の人材を育成して、ものづくり産業の発展を目指すという本学の設立の趣旨からも、出張授業がその一助になることを念願している。
416	ものづくり大学	(高大連携事業)高校生・大学生共同プロジェクト	令和元年	幼保・小・中・高等学校等			高校生・大学生による共同プロジェクト事業。岩槻市の地場産業であるひな人形をモチーフにしたアクセサリー等の製作。 2019年度実施：8月6日（火） 岩槻商業高校（9名）
417	ものづくり大学	鴻巣市内公共施設の施設用品の製作	令和元年度	自治体（行政）			鴻巣市の公共・保育・教育施設等から依頼を受け、卒業制作の一環として、施設用品の製作に取り組み、各施設に寄贈した。
418	ものづくり大学	埼玉県伊奈町に根差した建材店の木質化改修計画	令和元年度	企業			建材店の事務所や倉庫などを主に県産材で木質化する改修計画を行った。
419	ものづくり大学	埼玉県加須市古民家カフェの木造テラス改修計画	令和元年度	企業			古民家カフェの木造テラスの改修設計を行い、実際に施工した。
420	ものづくり大学	埼玉県戸田市の木造空き家改修に関する意識調査	令和元年度	その他			学生の木造空き家に対する意識と建築教育との関連を検討し、戸田市の木造空き家改修へ向けての知見とした。
421	ものづくり大学	行田市の観光者を対象とした交流人口の増加に着目した調査	平成27年度	自治体（行政）			国土交通省の助成を受け、行田市都市計画課と共同で取り組んでいる。 行田市の観光者の基礎属性、観光評価、まちなみ評価に着目し、交流人口増加に向けての施策検討を行った。
422	ものづくり大学	行田市中心市街地の活性化施策が住民のまちづくり意識に及ぼす影響に関する研究	平成27年度	自治体（行政）			国土交通省の助成を受け、行田市都市計画課と共同で取り組んでいる。 住民意識の変化を指標として、当該事業効果と住民のまちづくり意識に及ぼす影響について調査、研究を行った。
423	ものづくり大学	長瀬町の住民と来訪者の観光イメージギャップ把握による観光資源活用方策の最適化に関する調査・研究	平成30年度	自治体（行政）			埼玉県の助成を受け、長瀬町産業観光課と共同で取り組んでいる。観光資源の活用等に関する調査・研究を行った。
424	ものづくり大学	長瀬町の公共交通の導入・維持に向けた住民意識の把握を目的とした意識調査	平成29年度	自治体（行政）			国土交通省の助成を受け、長瀬町企画財政課と共同で取り組んでいる。過去の実証実験や周知活動が、住民の公共交通の維持に関する意識の変化に及ぼす影響について、調査、研究を行った。
425	ものづくり大学	長瀬町の新たな公共交通のモデルプランの検証に関する調査、研究	平成29年度	自治体（行政）			国土交通省の助成を受け、長瀬町企画財政課と共同で取り組んでいる。新たな公共交通のモデルプランの効果検証に関する調査、研究を行った。
426	ものづくり大学	公共交通のスマート技術の導入に向けた住民の受容意識に関する調査、研究	平成29年度	自治体（行政）			国土交通省の助成を受け、長瀬町企画財政課と共同で取り組んでいる。公共交通へのスマート技術導入に関する調査、研究を行った。
427	立正大学	立正大学オープンカレッジ	昭和42年度	自治体（行政）			熊谷市と、その周辺都市の住民を対象に毎年前期後期にそれぞれ4回の講座を開催しております。講師陣は立正大学全8学部（仏教・文学・経済・経営・法学・社福・地球・心理）の各学部より1名ずつ出しています。
428	立正大学	立正大学デリバリーカレッジ	平成20年度	自治体（行政）			地方の自治体と共催で、毎年春と秋に地域住民を対象にした講座を開催しております。講座の内容は宗教、文学、歴史、社会、経済、経営、法律、福祉、環境、心理などさまざまな分野に及んでおります。 【令和元年度開催都市】 三郷市（埼玉県）、筑西市（茨城県）、会津若松市（福島県）、釜石市（岩手県）、茅ヶ崎市・座間市（神奈川県）、千葉市（千葉県）、郡山市（福島県）、佐野市（栃木県）、高崎市 全10都市
429	立正大学	子ども大学くまがや・なめがわ	平成22年度	自治体（行政）			子どもたちの素朴な疑問や知的好奇心を満足させるため、様々な分野での学びの機会を提供することを目的としております。熊谷市・滑川町の小学生4年生から6年生を対象に、「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」について大学の先生や専門の方たちで、わかりやすい授業を心がけております。
430	立正大学	子ども大学ベアリス☆ひがしまつやま	平成30年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		埼玉県、東松山市、社会福祉法人などと連携し、特別支援学校・学級に通う生徒児童を対象に、公教育では経験できない学びの機会を提供しています。
431	立正大学	立正大学ラグビーフェスティバル	平成20年度	自治体（行政）			市民へのラグビー普及とラグビーを通じた交流、および幼稚園児や小学生などへの指導による学生の社会貢献と人間的成長を目指すために開催しております。
432	立正大学	直実市民大学	平成22年度	自治体（行政）			熊谷市から講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。
433	立正大学	彩の国いきがい大学（熊谷学園及び東松山嵐山学園）	平成23年度	その他			彩の国いきがい大学から講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。
434	立正大学	桶川市平成市民大学	平成21年度	自治体（行政）			桶川市から講師依頼を受け、桶川市民の方々に大学生の気分を味わってもらうため、立正大学の教員が講師を勤める講座は熊谷キャンパスで開催しております。
435	立正大学	行田市民大学	平成21年度	自治体（行政）			行田市民大学からの講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。
436	立正大学	ちちぶ学セミナー	平成30年度	自治体（行政）			秩父市からの講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
437	立正大学	くましん立正大学ジョイント・カルチャー教室	平成23年度	産業界（企業等）			熊谷商工信用組合との共催で市民に向けた講座を開催。講演の内容については、本学の8学部の特性を活かし文学、歴史から環境、心理に至るまで、幅広い分野になるよう心がけております。
438	立正大学	産学官連携まちづくりフォーラム	平成18年度	自治体（行政）			熊谷市と共催して地域との関わりについての話題を通して、新たな産業を生み出す力（産業力）を探ることを目的として、市民および企業関係者を対象にフォーラムを開催しています。
439	立正大学	日本酒制作プロジェクト	平成26年度	産業界（企業等）			熊谷市で唯一の酒造メーカーである「権田酒造株式会社」と連携し、本学学生がオリジナル日本酒を作成しました。2015年度には熊谷市のふるさと納税贈答品に採用されました。
440	立正大学	まちなかりノバージョンプロジェクト	平成29年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		学生の視点から地域活性化、魅力ある街づくりを提案し、空き店舗を活用して中心市街地に若者を呼び込み、賑わいを創出することを目的に、東松山市、近隣大学学生が連携して街づくり企画を行っています。
441	立正大学	東松山市きらめき市民大学	平成22年度	自治体（行政）			東松山市きらめき大学から講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。
442	立正大学	障がい者スポーツ体験学習会	平成20年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			本学社会福祉学部学生が講義で学んだ障がい者スポーツ技術を小中学生の参加者に対し実技しています。
443	立正大学	滑川町児童生徒の安全安心のための情報化推進	平成21年度	自治体（行政）			本学地球環境科学部教員が滑川町からの委託により、町内の防犯情報をホームページ上での発信を支援し、安全な街づくりに貢献しています。
444	立正大学	暑さ対策研究日本一支援事業	平成29年度	自治体（行政）			本学地球環境科学部教員が熊谷市からの委託により、市内の気象要素の分析と熱中症発生実態との関連性を精査することで、同市の暑さ対策事業の展開に貢献することを目的としています。
445	立正大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		東上地域の17大学、13自治体と共に、「多様な高等教育の提供」、「生活しやすい地域づくりへの貢献」、「地域産業の活性化」を図ることを目的としています。
446	立正大学	比企地域等大学連携	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		東松山市と共に、3大学、2短大と比企地域の活性化を図ることを目的としています。
447	立正大学	埼玉北部地域技術交流会	平成21年度	自治体（行政）			埼玉県北部地域にある多種多様な企業の交流を目的として開催される「埼玉北部地域技術交流会」に出展しています。
448	立正大学	「熊谷高校SSH 英語による研究発表会」への留学生派遣	平成30年度	幼保・小・中・高等学校等			英語による成果報告・成果交流会へ留学生を派遣し、英語でのコメント、交流をしています。
449	立正大学	図書館と県民のつどい埼玉	平成24年度	自治体（行政）			埼玉県図書館協会と埼玉県教育委員会主催の催しに埼玉県大学・短期大学図書館協議会のメンバーとして参加しています。
450	立正大学	「コバトンNPOニュース」作成	平成21年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			埼玉県北部地域振興センターとの共同により、学生レポーターが埼玉県北部地域にあるNPO取材し、「コバトンNPOニュース」として報告・発信しています。
451	立正大学	吉岡中学校による高齢者訪問・交流事業		幼保・小・中・高等学校等			吉岡中学校による「高齢者訪問・交流事業」の一環で、「ふくしの授業」を開講。立正大学教員が高齢者福祉やひきこもり、障害と防災等について講話を行っています。
452	立正大学	小学生のためのプログラミング教室	平成28年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		熊谷市内の子供塾経営者、Code for SAITAMAなどと協働し、電子工作や簡易言語を用いたプログラミング教育授業を行っています。
453	立正大学	愛染堂の修復・維持管理支援	平成27年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			熊谷市内にある愛染堂の修復のための費用集めや維持管理の仕組み作り、広報活動、地域調査、縁日の運営などに参加しています。
454	早稲田大学	オープンスクール	平成7年度	幼保・小・中・高等学校等			●「脳の研究」について、高校生に体験してもらう。 （ブタの脳の解剖、神経の顕微鏡観察） ※現在は埼玉県内の高等学校と実施している。
455	早稲田大学	所沢市との「協働によるまちづくり」	平成15年度	自治体（行政）			●市の行政活動に大学が保有する知的財産をまちづくりの資源として活かし、豊かな地域社会を創造する。 ●福祉、環境、教育、文化、スポーツ、芸術などの分野において相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与する。
456	早稲田大学	所沢市西地区総合型地域スポーツクラブの支援事業	平成16年度	自治体（行政）			●種目別クラブ活動 ●各種スポーツ教室 ●健康体力相談・測定 ●各種研修会・講演会 ●調査研究 ●会員相互の親睦を深めるための活動 ●その他、クラブの目的達成のために必要な事業
457	早稲田大学	狭山シニア・コミュニティ・カレッジ「生きがい学科」	平成18年度	自治体（行政）			●人間科学部およびスポーツ科学部教員がコーディネートした講座実施（30回） ●授業期間中の毎土曜2限 ●定員30名

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
458	早稲田大学	所沢市教育委員会並びに早稲田大学人間科学学術院による教育連携	平成19年度	自治体（行政）			所沢市の市立小・中学校へ早稲田大学人間科学部の実習学生を派遣し、学校教育活動の円滑な実施に寄与し、教育現場における体験等を通じて、学生の教育専門職としての意識および教養を高め、学校教育の一層の向上を図る。 実習内容は次のとおり。 ●学習支援 ●その他、学校教育活動に関すること
459	早稲田大学	埼玉県皆野町と早稲田大学人間科学学術院との地域活性化プロジェクト	平成31年度	自治体（行政）			●海外招聘高校生、早稲田大学人間科学部学生・大学院生、皆野中学校生徒との英語交流事業 ●キャリア教育を目的とした皆野町立小学校・中学校、県立皆野高校と早稲田大学人間科学部学生・大学院生との交流事業 ●地域創成を目的としたインターンシップ事業
460	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 令和元年度前期公開講座	平成19年度	自治体（行政）			5～10月、埼玉県、所沢市、狭山市、入間市の各教育委員会の後援を受けて、音楽、健康、心理学、文学、芸術、語学（英語・中国語・韓国語）、パソコンの19講座を開設。
461	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 令和元年度後期公開講座	平成19年度	自治体（行政）			10～3月、埼玉県、所沢市、狭山市、入間市の各教育委員会の後援を受けて、音楽、健康、心理学、文学、芸術、語学（英語・中国語・韓国語）の19講座を開設。
462	秋草学園短期大学	子ども大学ところざわ	平成23年度	自治体（行政）			埼玉県、所沢市、市内の大学とが連携して、小学4～6年生の子どもたちが大学で学ぶ機会を提供する。  【はてな学】 「知らなかった日本茶ってこんな味？」（12月7日）
463	秋草学園短期大学	インターンシップ	平成13年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		自治体・企業等にインターンシップの受け入れを依頼、5～12日間程度で実施している。修了後単位が付与される。
464	秋草学園短期大学	地域活動（ボランティア）	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）	その他	自治体、NPO法人、幼稚園・保育園等からの依頼を受け、学生を派遣する。地域保育学科はボランティアが必修科目とされ、修了者に単位（4単位）が付与される。
465	秋草学園短期大学	都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト	平成29年度	自治体（行政）			所沢市との官学連携協定の一環として、不要になった携帯電話等から、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの入賞メダルをつくるというプロジェクトに参画した。
466	秋草学園短期大学	所沢市地産地消推進事業 所沢農産物応援隊	平成28年度	自治体（行政）			所沢市内で生産される農産物の魅力を市内外にPRする「農産物応援隊」として、年間を通じて各地で開催されるイベントに有志学生が参加した。
467	秋草学園短期大学	地域交流活動	平成29年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			新所沢団地自治会と文化表現学科学生との連携。 (実施内容) 1. 自治会主催の「さくら祭り」に参加し、ワークショップ「ペットボトルキャップでアクセサリー作り」実施 2. 自治会コミュニティサロンにおけるポケットティッシュケースの制作・販売 3. 自治会主催行事への参加（七夕リース制作・クリスマス・リース制作、飾り付け等） 4. 自治会コミュニティサロンでのボランティア
468	秋草学園短期大学	埼玉県西部地域魅力発見プロジェクト	平成30年度	自治体（行政）			平成31年2月15日（金）に埼玉県西部地域振興センター主催でおこなわれたバスツアーに、地域保育学科の学生6名が参加。他の大学の学生と共に、埼玉県西部地域の企業等を訪問し、その魅力を体験した。今後もSNSを通して地域の魅力を発信するため「西方見聞大使」に任命をされた。
469	秋草学園短期大学	埼玉県民の日高校生「学び」“夢”プラン	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県高等学校進路指導研究会主催の事業であり、高校生が普段の大学の授業を学生と共に受講することにより、将来の学校や学部選択の参考にし、将来の職業や生き方を考える機会を提供する。 令和元年11月14日（木）に高校生2名が授業を受講した。
470	秋草学園短期大学	駅ボランティア		自治体（行政）	産業界（企業等）		学生約70名が参加し、所沢市、西武鉄道の協力を得て車椅子での移動や、視覚の障がい者の疑似体験をし、障がいのある人々を理解するとともに、駅構内等での介助方法を学ぶ。
471	国際学院埼玉短期大学	さいたま市委託大学の公開講座	平成5年度	自治体（行政）			さいたま市との共催で、さいたま市在住・在勤の18歳以上（学生を除く）の方を対象に、本学の人的・設備的資源を活用した高度で専門的な内容の講座を実施した。 「子育てカパワーアップ講座」（講義：全4回） 「こどもとおとなの栄養学」（講義・調理実習：全4回）
472	国際学院埼玉短期大学	大学コンソーシアムさいたま加盟大学の公開講座	平成27年度	大学・短大（大学・短大間連携）			市民等の高度で専門的かつ多様な学習要求に応えるため、共通のテーマを設定し、各大学が公開講座（リレー講座）を実施した。 令和元年度共通テーマ「心と体の健康」 開催時期：6月～2月 ①パン作りにチャレンジ みんなで作るパン講座（1回） ②夏に食べたいおもてなし料理（1回） ③七宝焼入門・応用講座（全3回） ④健康維持・増進のためのエアロビクスエクササイズ（全5回） ⑤楽しく発声法を学び、懐かしい童謡・唱歌を歌いましょう（全3回） ⑥はじめての災害食講座－在宅避難生活を乗り越えるために－（1回） ⑦そば打ち入門（全3回） ⑧国際学院埼玉短期大学認定「食育士」養成講座（36コマ16回） ⑨介護食士（3級）養成講座
473	国際学院埼玉短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成30年度				本学学生会の活動の一環として、さいたま市内の児童が主体的に小さなまちづくりを行う「ミニ西区2019」（8月31日準備、9月1日実施）に学生スタッフとして参加した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
474	国際学院埼玉短期大学	全国調理師養成施設協会共催 公開講座 食育教室2019	平成27年度	自治体（行政）			全国調理師養成施設協会との共催で、小学生とその保護者を対象に食育をテーマとした公開講座を実施した。 「食事作法」と「親子で作る手作りお菓子」（講義と調理実習） 開催時期：8/1（木）午前・午後の2回開催 対象：小学生とその保護者 内容：講義「箸の持ち方とマナー」 調理実習：「クッキー3種」
475	国際学院埼玉短期大学	幼児絵画展	昭和61年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		埼玉県内の幼稚園・保育園（所）・認定こども園に通っている3歳から5歳までの子供を対象に、幼児教育における表現活動への興味・関心を深め、県内幼児教育の振興に寄与することを目的に開催している。また、全ての応募作品は本学の五峯祭（大学祭）で展示している。
476	国際学院埼玉短期大学	味彩コンテスト	平成5年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		一般家庭の食生活の改善や健康増進、高校生の食育推進等に役立てることを目的にバランスの良い健康に役立つ献立を公募し、書類審査、試食審査を行い優秀作品を選出・表彰する。最優秀作品は、五峯祭（大学祭）でそのレシピとともに提供している。
477	国際学院埼玉短期大学	農・商・学連携地産地消プロジェクト	平成24年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		さいたま市農業青年協議会の協力を得て、さいたま市特産の紅赤を本学学生が苗付、除草、収穫等を行い、農作業を通じて農業の役割や食物の大切さなどを理解する取り組みを行っている。また、収穫した紅赤を使用したスイーツを考案し、五峯祭（大学祭）やさいたま市農業祭において販売している。
478	国際学院埼玉短期大学	埼玉教育コラボレーション協定による講師派遣	平成25年度	自治体（行政）			さいたま市教育委員会との間で「さいたま教育コラボレーション協定」を締結し、さいたま市が行う栄養教諭や学校栄養職員・栄養士を対象とした研修会の講師を本学教員が担当している。また、さいたま市立小学校の研究授業に参加する機会を得ている。
479	国際学院埼玉短期大学	県民の日 高校生「学び」夢プラン	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県高等学校進路指導研究会と埼玉県私立短期大学協会等との連携により開催する県民の日高校生「学び」夢プランに参画し、本学通常授業に高校生・高校教員の参加を受け入れている。
480	国際学院埼玉短期大学	大学の開放授業講座	平成28年度	自治体（行政）			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座（リカレント教育）」として、県内在住の55歳以上の方々を対象に、本学通常授業への受け入れを4科目で実施した。
481	国際学院埼玉短期大学	チャレンジスクール講師派遣	平成30年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		さいたま市内の小・中学校のチャレンジスクール（土曜・放課後）の講師として本学教員を派遣している。
482	埼玉医科大学短期大学	高大連携事業	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			高校生に大学の模擬授業を体験してもらうとともに、大学構内の見学を行い、適宜質疑応答を行った。高等学校と大学の教職員間でテーマをあげ、教育上の情報交換会を実施。
483	埼玉医科大学短期大学	埼玉医科大学短期大学公開講座	平成29年度	自治体（行政）	その他		遙光祭（学園祭）にて、一般市民を対象とした市民公開講座を開催した。教員・学生が運営を担った。▲「地域で健康増進 やってみよう TOMORROW体操」
484	埼玉医科大学短期大学	埼玉県民の日高校生学び夢プラン	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		埼玉県高等学校進路研究会と埼玉県私立短期大学協会が行っている「埼玉県民の日高校生学び夢プラン」に協力し、埼玉県民の日に希望する高校生および教員に、通常授業への参加受入を実施。
485	埼玉医科大学短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域活性化のため、自治体・企業・大学が一体化となり、地元で生まれ、地元で育ち、地元で生きていく若い世代への支援というビジョンのもと「多様な高等教育」「生活しやすい地域づくり」「地域産業の活性化」を掲げ、大学・自治体・地元企業とともに地域活性化を目指す。 ・TJUP主催で開催した『県西部地域大学リレー型公開講座』
486	埼玉純真短期大学	羽生市学びあい夢プロジェクト協議会	平成22年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	その他	羽生市内の教育機関（児童福祉施設、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、短期大学等）と教育委員会が連携して、教育交流を推進し、幼児・児童・生徒・学生及び教職員の成長を促進する活動を行っている。
487	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学市民公開講座	平成21年度	自治体（行政）	その他		6月29日（土）、7月13日（土）、8月10日（土）、9月14日（土）の4日間にわたって、一般市民を対象として実施。講座数は27講座。参加人員は478名。講座は埼玉純真短期大学の教職員によるもののほか、市民による「下總皖一」や「美調律ボイス体験」など実施。9月14日（土）には講座参加者による終了パーティーを開催。あわせてピアノ教室参加者による発表会を行った。
488	埼玉純真短期大学	特別支援教育（発達障害）研究セミナー	平成23年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	その他	第9回目の特別支援教育（発達障害）研究セミナーを、11月9日（土）に開催した。後援：埼玉県、羽生市、加須市、熊谷市、行田市の各教育委員会、埼玉県特別支援教育研究会。講演「スポーツと人生」埼玉ボッチャクラブ小堀選手・吉川監督。講座 ①「音楽・音を楽しむ授業づくり」 ②「早期教育における指導・支援」 ③「障がいのある子の自立活動の実践」 ④「障がいのある子の青年期の生活」
489	埼玉純真短期大学	子ども大学はにゅう	平成23年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	第9期の「子ども大学はにゅう」を、9月21日（土）、10月26日（土）、11月16日（土）、12月14日（土）の4回にわたって開校した。 参加者：市内の小学校4年生～6年生10名。子ども大学の卒業生2名がサポーターとして参加した。
490	埼玉純真短期大学	教員による出前講座		自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	地元羽生市や周辺市町村の小・中・高等学校や地域団体からの要請で、教職員による出前講座を実施している。主な実施内容 ① 小中学校、高等学校等の教職員研修の講師派遣 ② 羽生市、行田市、加須市の公民館事業等への講師派遣 ③ 児童養護施設職員研修への講師派遣 など

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
491	埼玉純真短期大学	学生による地域ボランティア活動		地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）	産業界	地元自治体、教育委員会のほか、各種団体からの派遣要請を受け、地域活動をサポートする学生のボランティア活動を推進している。主な実施内容 ① 県立羽生水族館「スマイル幼稚園」 ② 世界キャラクターさみっとin羽生 ③ 五霞ふれあいフェスティバル ④ 羽生警察署死亡事故ゼロキャンペーン ⑤ 西WING新羽生まつり ⑥ 保育園、幼稚園等のお手伝いなど
492	埼玉純真短期大学	地元小学校1年生児童の1日入学	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		地元の羽生市立羽生南小学校（6月21日）、羽生市立手子林小学校（10月16日）、羽生市立岩瀬小学校（10月23日）、羽生市立三田ヶ谷小学校、村君小学校（11月6日）、羽生市立新郷第一小学校（1月22日）の1年生が、1日大学生として大学生生活体験を行った。
493	埼玉純真短期大学	地元小学生（3年生）の学校見学		幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		地元の羽生市立三田ヶ谷小学校3年生が、社会科見学の授業で10月7日に来学した。
494	埼玉純真短期大学	クリスマス・ファミリー・コンサート	平成25年度	自治体（行政）	その他		一般市民を対象とした、第6回クリスマス・ファミリー・コンサートを、12月7日（土）に大学キャンパス内で開催した。参加者104名。
495	埼玉純真短期大学	子ども支援センター	平成25年度	その他			一般市民からの「子どもの発育・発達」についての相談を受け入れている。相談員は大学教員3名が担当している。
496	埼玉純真短期大学	埼玉県民の日高校生学び夢プラン	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		埼玉県高等学校進路研究会が主催する「埼玉県民の日高校生学び夢プラン」に協力し、埼玉県民の日に希望する高校生および教員に、通常授業への参加を受け入れている。参加者は生徒5名、教員1名。
497	埼玉純真短期大学	高大連携授業	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携協定により、埼玉県立誠和福祉高等学校、埼玉県立進修館高等学校の生徒に、本学教員の講義を行った。実施回数：誠和福祉高等学校 9回 進修館高等学校 6回。また、埼玉県立羽生第一高等学校とは、教員相互の交流を行った。
498	埼玉純真短期大学	中学生のためのオープンカレッジ	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		羽生市内の中学生を対象としたオープンカレッジを、埼玉県民の日に実施した。参加者3名
499	埼玉純真短期大学	羽生市と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定	平成26年度	自治体（行政）			羽生市との間に、教育、文化、生涯学習、産業、健康・福祉、まちづくり、自然・環境、学術研究、人材育成などの分野において、地域連携協力の協定を結んでいる。
500	埼玉純真短期大学	行田市教育委員会と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定	平成29年度	自治体（行政）			行田市教育委員会との間に、教育、文化、生涯学習、学術研究、人材育成などの分野において、地域連携協力の協定を結んでいる。
501	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学の連携協力協定	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）			平成国際大学、ものづくり大学との間に、教育研究と学術交流及び地域連携活動の分野において、連携協力の協定を結んでいる。
502	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立誠和福祉高等学校との高大連携に関する協定	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県立誠和福祉高等学校との間に、双方の教育機能について交流・連携を行う協定を結んでいる。
503	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立進修館高等学校との高大連携に関する協定	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県立進修館高等学校との間に、双方の教育機能について交流・連携を行う協定を結んでいる。
504	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立羽生第一高等学校との高大連携に関する協定	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県立羽生第一高等学校との間に、双方の教育機能について交流・連携を行う協定を結んでいる。
505	埼玉東萌短期大学	公開講座「救急講習」	平成24年度	自治体（行政）			消防署の協力を得て、隔年で「普通救命講習Ⅲ」を開講している。内容は、応急手当の重要性（講義）、主に新生児から幼児に対する基本的心肺蘇生法、AEDの使用法、異物除去方法および止血法等となる。
506	埼玉東萌短期大学	見えないチカラと夢のリアル体験教室・プレミア	平成30年度	自治体（行政）			平成30年度より、埼玉県民生部青少年課の主催事業である「夢のかけはし教室」（現事業名「見えないチカラと夢のリアル体験教室・プレミア」）を開講している。内容は、小学生（4年～6年生）を対象とした、保育士体験プログラム（手遊び歌や紙芝居、参加型劇等の体験、実践）となる。毎回、近隣の保育園に向向き、参加者が保育士（先生）役となり、園児に手遊び等の実演を行うことを実践している。
507	埼玉東萌短期大学	わくわくひろば～保育ショー～	令和元年度	自治体（行政）			越谷市科学技術体験センター ミラクルにおいて実施。自分から参加したいと名乗り出た学生たち2年生を中心に作り上げた保育ショーである。学生参加者は、24名。また、現役幼稚園教諭として卒業生1名がアドバイザーとして参加した。保育ショーの内容は、紙芝居、マジック、子どもたちが楽しめる科学的な遊びなど取り入れ、最後には、「パブリカ」のダンスを全員で踊った。地域の親子が72名参加した。
508	城西短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等
509	武蔵丘短期大学	小学生への水泳指導	平成18年度	幼保・小・中・高等学校等			夏休みを利用した近隣小学校の水泳教室に、本学学生が指導または指導補助にあたっている。学生は授業で身につけた指導技術を活かして指導にあたっている。現在の児童の様子が把握でき、インターンシップの要素も含まれている。また、地域の児童とコミュニケーションがとれる貴重な機会でもあるため、今後も継続していきたい。
510	武蔵丘短期大学	インターンシップ	平成3年度	産業界（企業等）			学生が本学で学んだ知識や指導技術を活かす場として、企業や団体において実習的・研修的な就業体験を行う。



埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
511	武蔵丘短期大学	子ども大学よしみ	平成25年度	自治体（行政）			埼玉県教育局、吉見町教育委員会、吉見町商工会と連携し、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、7月～10月に計4回の講義等を実施した。
512	武蔵丘短期大学	リカレント教育	平成28年度	自治体（行政）			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座（リカレント教育）」として、県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくことを目指して開放授業を実施している。
513	武蔵丘短期大学	まちなかりノベーションプロジェクト	平成29年度	自治体（行政）			全国的な課題となっている中心市街地の空洞化に対して、東松山市内にて若者の活力により賑わいを創出し活性化を図ることを目的とし、平成30年度以降の事業化に向けて検討を進めている。
514	武蔵丘短期大学	秩父農工化学との連携事業	令和元年度	幼保・小・中・高等学校等			秩父農工科学高校において日本料理の技術指導を実施した。
515	武蔵丘短期大学	熊谷工業高校との事業	平成30年度	幼保・小・中・高等学校等			「親子で楽しむ健康弁当作り」を実施した。
516	武蔵丘短期大学	寄居城北高校との事業	令和元年度	幼保・小・中・高等学校等			「陸上競技部員専門的指導」、「親子進路見学会」を実施した。
517	武蔵丘短期大学	児玉白楊高校との事業	令和元年度	幼保・小・中・高等学校等			「教職員のメンタルヘルス研修」を実施した。
518	武蔵丘短期大学	鶴ヶ島清風高校との事業	令和元年度	幼保・小・中・高等学校等			「食育関連講義、骨密度測定」を実施した。
519	武蔵丘短期大学	比企地域大学等連携協議会 (Dear my net)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		本学と大東文化大学、立正大学、東京電機大学、山村学園短期大学でにおいて、東松山市のスリーデーマーチでのごみ拾い、リレー講座、ランチパックプロジェクトを実施している。
520	武蔵丘短期大学	吉見町災害ボランティア	令和元年度	自治体（行政）			令和元年10月に被災した地域へ、本学学生が吉見町赤十字と連携し、ボランティア活動を実施した。
521	武蔵野短期大学	公開講座	平成20年度	自治体（行政）			埼玉県教育委員会・狭山市教育委員会後援の公開講座を実施。実施日・講座内容は以下の通り。 令和元年10月19日（土） 「宇宙と人間」 最新の科学的宇宙観と人間、地球文明の関わりについて論じます。 令和元年10月20日（日） 「大航海時代と「はやぶさ2」の現在」 これからの宇宙観測は大航海時代になるのでは？「はやぶさ2」も観測が終了したトピックス的な現在の概要
522	武蔵野短期大学	コラボレーション講座	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携事業として、本学教員による、コラボレーション講座（授業）を全9回（18講座）（令和元年5月18日～令和元年7月11日の間）実施。主に本学近傍の高校生が受講しており、協定締結している高校では、この講座を受講することにより、単位認定している。協定締結している高校は、埼玉県立高校4校、私立高校1校である。
523	武蔵野短期大学	子ども大学さやま	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	産業界（企業等）	子どもの学ぶ力や生きる力の向上及び自治体、企業等との連携により地域の教育力の向上を目的とした事業である。令和元年10月5日～令和元年12月21日の間の5日間（全5回）で講義を開催。対象は狭山市市内小学校4,5,6年生である。定員は50名講義内容は以下の通り。 10月5日 「児童文学・幼年童話・絵本のブックトークに挑戦！」 10月26日 「学ぼう・お金の世界」 11月30日 「情報メディアを使った『わかる勉強』を考えてみよう」 12月7日 「ゴルフをやってみよう！～2020年東京オリンピック・パラリンピックにむけて～」 12月21日 「がんばれニッポン！狭山市も会場に！！2020年東京オリンピック・パラリンピック～すべては大空翼と岬太郎のツインシュートから始まった～」
524	山村学園短期大学	公開講座	平成2年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		11月17日、2月9日 川越 小江戸蔵里にて実施 フィンランドの豊かな暮らしと教育とは？～地域の子育て環境を豊かに～
525	山村学園短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成14年度	自治体（行政）	その他		埼玉ピースミュージアム；紙芝居読み聞かせ会 山村学園短期大学；認知症サポーター養成講座、はとやまワークショップDAY 鳩山町；はとやま祭、鳩山町子育てフェスティバル、ふれあい広場2019、鳩山町納涼夏祭り、健寿まつり 東松山市；リレー講座、まちおこしランチパック開発プロジェクト 坂戸児童センター；こどもまつり、秋まつり、もちつき会 小川町；七夕まつり竹飾りコンクール出展 毛呂山町児童館；イベント手伝い

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和元年度）

	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
526	山村学園短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等	地域団体（NPO、ボランティア等）		山村学園短期大学；子育て支援サークル 双子ちゃん集まれ秋の遠足、鳩山幼稚園遠足、ハルム松ノ木保育園 どんぐり拾い 鳩山高校；鳩高祭 展示ブース参加 埼玉育児院；チャリティコンサート ひばり保育園；ひばりっこスキーキャンプ おおよま福祉作業所；利用者誘導、イベント手伝い 富士見すくすく保育園ナーサリースクールSUKUSUKU；お誕生日会イベント 埼玉県子ども動物自然公園内こどもの城；絵本の読み聞かせ（毎月第2土曜日、絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアター、パネルシアター等の上演）
527	山村学園短期大学	教員による出前講座・出張講演	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		鳩山町；「保育ボランティア養成講座」 東松山市；「リレー講座 絵が語る言葉が魅せる心が踊る」 飯能高校；「ダンスにトライ！」 鳩山高校；「ゲームでコミュニケーション」「作って遊ぼう」「まんまる紙ヒコーキ」 川越西高校；「動くおもちゃ作り」 寄居城北高校；「パネルシアターとは、パネルシアターの演じ方」 滑川総合高校；「絵本とプチシアター」
528	山村学園短期大学	里山保全体験学習	平成14年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		鳩山町石坂の森において、里山保全体験学習（下刈り、坪刈り、樹木の伐倒、自然観察、里山遊び、クラフト作成等）を実施。
529	山村学園短期大学	鳩山町つどいの広場「ぼっぼ」	平成20年度	自治体（行政）			鳩山町からの委託を受け、つどいの広場を運営し地域の子育て支援に供している。毎月子育て教養講座を開催し、音あそび、ふれあい遊び、お菓子作り、おもちゃ作り、和紙の折染め、手遊び・歌遊び、絵本・紙芝居の読み聞かせ、ハロウィンパーティー（仮装あそび）、クリスマスコンサート等を実施している。
530	山村学園短期大学	子ども大学はとやま	平成27年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	産業界（企業等）	県、鳩山町、東京電機大学と本学が連携し、鳩山町内の小学4～6年生30名を対象に年6回の講義を実施。本年度の本学での授業は「風と遊ぶ」というテーマで行った。
531	山村学園短期大学	のびのび鳩山	平成27年度	自治体（行政）			鳩山町教育委員会と連携し、鳩山町内の小学1～3年生45名を対象に行事等を開催。学生ボランティアを派遣して子どもたちとの七夕飾り作りや万華鏡作り、また、本学クリスマス会への招待等を実施している。
532	山村学園短期大学	東松山市まちなかりノベーション	平成30年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		東松山市と近隣の5大学が連携し、東松山駅前の活性化を目的に、学生の視点から若者を呼び込める魅力ある街づくりの提案をしている。空き店舗を活用したイベント等で中心市街地に賑わいを創出することを目指す。本学は平成30年度より参加している。
533	山村学園短期大学	比企地域大学等連携協議会 (Dear my net)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		東松山市と近隣の5大学が連携し、地域の活性化を図ることを目的に活動している。リレー講座、ランチパック開発プロジェクト等を実施している。日本スリーデーマーチでのクリーンウォーク（ごみ拾い）も計画していたが、今年度は台風による被災によりイベントそのものが中止となった。
534	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	埼玉県内の18に及ぶ大学や自治体及び企業が連携し、単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等を実施している。